

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『性と生殖の人権問題資料集成』 解説・総目次・索引

不二出版

II 総目次

全卷概要

第1巻～第14巻――産児調節運動編

うち13・14巻は雑誌編

第15巻～第26巻――優生問題・人口政策編

第27巻～第35巻――性科学・性教育編

【第1巻】

資料番号——資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 一——懐妊避妊自在法全(智慧の庫第四十五号附録)●松原健吉 編||平野助三●由巳社●一八八〇・二
- 二——子宝自在二造ル伝全(官許)●太田嘉三治●一八八二・四
- 三——人工妊娠新術●著・訳||大野勝馬 題辞||台陰居士 序||村山愛民●警醒書院●一八九一・七
- 四——社会改良実論全●小栗貞雄・賀来寛一郎●人民新聞社出版部●一九〇三・一〇
- 五——子の有る法無い法●田村化三郎●読売新聞社●一九〇八・七
- 六——妊娠制限又ハ避妊玉「アトシア」ト称シ販売スルモノ、義ニ付回答ノ件●衛生局長・警保局長●一九〇九・八
- 七——産児制限論一名避妊の研究●鴨田脩治 序||荏田要二郎・佐々木金次郎・西川文字 跋||鈴木薫 述||ツリスデル・浮田和民・安部磯雄・丘浅次郎・井上友一・中島徳蔵●日本薬学協会●一九一四・二
- 八——懐妊及避妊の秘訣●長谷川月嶺 序||早川益甫●中央図書出版社●一九一五・一〇
- 九——尊属ニ対スル殺傷罪其ノ他ノ件依命通牒(内務省秘第一八七七号)●内務省警保局長●一九一六・九
- 一〇——妊娠及避妊の新研究●沢田順次郎●金子出版部●一九二一・四
- 一一——日本パンフレット『第二号』新マルサス主義●石本静枝 発行に際して||大島義晴●日本パンフレット発行所●一九二一・八
- 一二——産児調節論●マーガレット・サンガー 訳||奥俊貞 序||ハウロツク・エリス●精華書院●一九二一・二二

【第2巻】

資料番号——資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 一三——家族制限法●マーガレット・サンガー●東京生活研究会●一九二二
- 一四——産児制限と優生学(世界パンフレット通信号外)●ハヴァアロツク・エリス 訳||弓家七郎●世界思潮研究会●一九二二・四
- 一五——産児制限と避妊●羽太鋭治●文化出版社●一九二二・七
- 一六——産児制限論を諸方面より観察して(日本産児調節研究会叢書第一編)●石本静枝●日本産児調節研究会●一九二二・一〇
- 一七——実際に於ける避妊及び産児制限の新研究附新夫婦の文化生活(沢田性の研究叢書第六卷)●沢田順次郎●正文社書房●一九二二・二一

- 一八——我が人口問題と産児調節論(日本産児調節研究会叢書第二編)●石本恵吉●日本産児調節研究会●一九二二・二二
- 一九——「実行方法」を知りたい人への文書)●京都産児制限研究会●一九二三●京都
- 二〇——今日の日本で実行可能で割に確かな法●産児制限研究会●一九二三●大阪
- 二一——〔案内〕●産児制限研究会●一九二三・一●大阪
- 二二——生物学上より観たる産児調節論(日本産児調節研究会叢書第三編)●松村松年 はしがき||石本静枝●日本産児調節研究会●一九二三・三
- 二三——生物学上より観たる産児調節論(下)(日本産児調節研究会叢書第三編)●松村松年●日本産児調節研究会●一九二三・三
- 二四——産児制限研究(パンフレット第一編)●野田君子●産児制限研究会●一九二三・五●大阪
- 二五——趣意書●産児制限研究会●一九二三・五●兵庫
- 二六——産児制限論(文化パンフレット第二十輯)●編||織田淑子●文化研究会●一九二三・六
- 二七——文明の中樞●マーガレット・サンガー 訳||石本静枝 序||エイチ・ジ・ウエルス●実業之日本社●一九二三・八

〔第3巻〕

資料番号——資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 二八——妊娠調節の実知識全●編述||小川隆四郎 序||加治時次郎●日本妊娠調節相談所●一九二四・八
- 二九——産児制限問題大講演会●一九二四・一一●兵庫
- 三〇——よき子を産むために懐妊の調節に就て●小池四郎 装画||中川紀元●クララ社●一九二五・一
- 三一——産児調節大講演会●日本フェビアン協会●一九二五・二
- 三二——産児調節の理論と実際●小池四郎●クララ社●一九二五・三
- 三三——産児制限大講演会●松阪社会思想研究会●一九二五・四●三重
- 三四——〔入会案内〕●産児制限研究会●一九二五・五●大阪
- 三五——産児制限の理論と実際(社会問題叢書V)●安部磯雄・馬島憐 共編||安部磯雄・山川均・堺利彦●文化学会出版部●一九二五・五
- 三六——性慾と産児制限学術大講演会●産児制限研究会●一九二五・一一●発行地不詳
- 三七——夫婦読本第二巻パースコントロール(産児制限)の正しき知識●越智真逸●文化生活研究会●一九二六・三

- 三八—食糧問題の解決として産児制限の価値●述||杉山重義 参考資料||トラヴァース・ポルグストローエム●文明協会●一九二六・四
- 三九—中央産児調節相談所第壹回統計報告●小池四郎●一九二六・五
- 四〇—中央産児調節相談所収支決算表●一九二六・五
- 四一—応用優生学と妊娠調節●池田林儀●春陽堂●一九二六・九
- 四二—日本産児調節調査会設立主旨●一九二六・一〇
- 四三—多産地獄附方法論(産児調節叢書)●真船伝六●産児調節普及協会●一九二六・一〇

〔第4卷〕

資料番号—資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 四四—我国の産児制限運動の批判と予の提唱(学芸講演通信社パンフレットNo.38)●暉峻義等●学芸講演通信社●一九二七・一
- 四五—人口問題と産児制限(農村問題叢書)●安部磯雄●農村問題叢書刊行会●一九二七・二
- 四六—妊娠調節の実際知識●根岸情治●資文堂書店●一九二七・三
- 四七—産児調節の学理と実際●赤津誠内●統覚書院●一九二七・七
- 四八—欧米避妊方法批判●滝本二郎●滝本研究所●一九二七・九
- 四九—妊娠・分娩・産児調節(家庭科学体系60)●山崎清・越智真逸 装帧||平福百穂 扉画||織田一磨●文化生活研究会●一九二七・一〇
- 五〇—妊娠調節と性の科学●野尻与頭・布施亮●愛国産児制限相談所●一九二七・二二

〔第5卷〕

資料番号—資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 五一—愛国産児制限相談所の道案内●愛国産児制限相談所●一九二八
- 五二—産児制限の可否(朝日民衆講座第2輯)●討論||紀平正美・安部磯雄●朝日新聞社●一九二八・一
- 五三—妊娠調節の理論と実際(生活難の解決)●小曾戸菊水●コンモン社●一九二八・一〇
- 五四—避妊の実行方法●M・サンガー 訳||山中静也●東西社●一九二八・一〇

- 五五―男女児自由に懐妊する法●久永蓮江●中央矯風会●一九二九・三●大阪
- 五六―避妊乃研究●マリ・ストープス 訳||馬島憺●平野書房●一九二九・二〇
- 五七―〔回答〕●愛児女性協会●一九三〇
- 五八―産児調節論(春秋文庫31)●暉峻義等●春秋社●一九三〇・一
- 五九―プロレタリア優生児調節妊娠衛生●優生学研究会●金星社書店●一九三〇・五●大阪
- 六〇―妊娠調節 優生児家庭相談●勝丸弘明 検閲||市岡冬太郎●文英堂書店●一九三〇・六●大阪
- 六一―産児調節と避妊●馬島憺●誠文堂●一九三〇・八
- 六二―妊娠調節の医学的知識●堤辰郎 序||川添正道●実業之日本社●一九三〇・一一

〔第6巻〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 六三―〔賛同の呼びかけ〕●日本産児調節聯盟●一九三一
- 六四―優生相談所案内 日本産児制限協会賛助会員のすゝめ●日本産児制限協会●一九三一・三●大阪
- 六五―産児調節の理論と実際性生活の合理化(性科学全集第九編)●馬島憺●武俠社●一九三一・三
- 六六―多産亡国論●名古屋長蔵 跋文||梅沢彦太郎・宮崎一・岩田三史・渡辺武・下光太郎・岡田徳輔・名古屋三吉・福田好輔●万里閣●一九三一・四
- 六七―指示事項(昭和六年四月二十八日於地方長官會議)(抄)有害避妊用器具取締ニ関スル件●一九三一・四
- 六八―謹告ノ産児調節展覽会開催の趣意●産児調節評論社●一九三一
- 六九―産児調節婦人聯盟趣意書●一九三一
- 七〇―産児調節婦人聯盟規約(創案)●一九三一
- 七一―産児調節婦人聯盟組織協議会順序●一九三一
- 七二―産児調節婦人聯盟組織協議会(呼びかけ)●産児調節婦人聯盟組織準備会●一九三一・五
- 七三―指示事項(昭和六年五月十八日於警察部長會議)(抄)有害避妊用器具取締ニ関スル件●一九三一・五
- 七四―産児制限無産者同盟組織方針書ノ産児制限無産者同盟規約(草案)●産児制限無産者同盟組織準備会●一九三一・五

- 七五—〔産児調節展覧会への出品の依頼〕●産児調節評論社・上野松坂屋●一九三一・六
- 七六—日本産児調節聯盟宣言及規約●日本産児調節聯盟●一九三一・六
- 七七—産児調節はなぜ大切か●日本産児調節聯盟●一九三一
- 七八—第四回理事会報告●日本産児調節聯盟●一九三一・六
- 七九—産児制限無産者同盟創立大会参加に就いてのお願い！●産児制限無産者同盟組織準備会●一九三一・六
- 八〇—産児制限無産者同盟創立大会●産児制限無産者同盟組織準備会●一九三一・六
- 八一—無産者産児制限同盟規約●一九三一・六
- 八二—墮胎法改正期成会趣旨書●墮胎法改正期成会●一九三一・七
- 八三—無産者産児制限展覧会 労働者券●一九三一・七
- 八四—産児制限相談所取締ニ関スル概要●内務省●一九三一・八
- 八五—声明書〔警視総監宛〕●日本産児調節聯盟●一九三一・九
- 八六—墮胎法改正期成聯盟趣旨書●産児制限普及会●一九三二
- 八七—実地応用妊娠調節図解避妊法・人工流産●竹田津六二 序||北井啓之 読者の為に・附録||竹田津あさ●白揚社●一九三二・一
- 八八—産児制限反対論・無量寿経要論●椎尾ひとし●正文館書店●一九三二・二●愛知
- 八九—日本産児調節聯盟解消ニ関スル最後の理事会記事録其他●日本産児調節聯盟●一九三二・三
- 九〇—解消声明書●日本産児調節聯盟理事会●一九三二・三
- 九一—日本産児調節婦人同盟趣意書及規約●日本産児調節婦人同盟●一九三二・五
- 九二—避妊及人工流産ニ関スル請願●産児制限普及会●一九三二・五
- 九三—産児制限の話 避妊の話●述||西村辰男●西村医院●一九三二・五●兵庫
- 九四—無産者産児制限とは何か(プロBCリフレット第一輯)●無産者産児制限同盟●一九三二・六
- 九五—妊娠と避妊の知識 子宝を得たい人子供が出来ては困る人必読書●編||山田秀次郎●アウト商会●一九三二・七
- 九六—妊娠と制限●高橋夢●朝日書房●一九三二・七

九七―器具薬品を要せぬ合法的避妊法(近代生活叢書第一篇)●野瀬市郎●木人社●一九三二・二一

〔第7巻〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

九八―プロBC供給品定価表●無産者産児制限同盟●一九三三

九九―加盟申込書●無産者産児制限同盟●一九三三

一〇〇―最も新しい大衆的避妊法●野尻与顕●産児制限評論社●一九三三・四

一〇一―産児調節は出来るか●太田武夫 編||日本産児調節婦人同盟 装幀||小栗美二●日本通俗医学社●一九三三・五

一〇二―産児制限と避妊法●中尾音吉●一心社●一九三三・九

一〇三―相談御案内●日本産児調節婦人同盟相談所●一九三四

一〇四―家庭の葉妊娠調節の指針●野口与一●家庭之葉社●一九三四・一●佐賀

一〇五―せち辛い世の中に●日本産児調節婦人同盟●一九三四・二

一〇六―本市に於ける優生相談所に関する資料(社会部報告第一八四号)●大阪市社会部労働課●一九三四・三●大阪

一〇七―国策産児調節と性常識●横井春野●日東書院●一九三四・三

一〇八―婦人ノ受胎期(木下産科婦人科叢書第9巻)●荻野久作 序||木下正中●南山堂書店●一九三四・六

一〇九―不妊症の治し方(治し方叢書第一篇)●保坂孝雄●治し方研究社●一九三六・二

一一〇―産児調節の心得●石本静枝●日本産児調節婦人同盟●一九三六・九

一一一―確実なる避妊の方法(附断種法(治し方叢書第二篇)●保坂孝雄●治し方研究社●一九三七・四

一一二―毎日開く相談所新設の御挨拶●日本産児調節婦人同盟●一九三七・八

一一三―母性膜ベツサリの使ひ方●編||日本産児調節婦人同盟東京女性相談所●一九三七・九

一一四―昭和十五年度ホーム商会取扱品目録●ホーム商会●一九四〇●大阪

一一五―特種品目録●一九四〇

一一六―豪華版産制コンドームカタログ●オカダ器械店内国部●一九四〇●神奈川

一七―取扱品値段表●永正堂薬局本店●一九四〇●大阪

〔第8巻〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 一七八―小川隆四郎 ●村上雄策 弔詞その他||小川誠・鶴島孝・安部磯雄・志立鉄次郎・田川大吉郎・飯塚康正・飯田政良・馬島間・石本静枝・垂水角蔵・道旗泰誠・竹田津六二・小川秀次郎・矢島敬二・桜井満洲雄・小川健三・白石麒麟志・畑中夢坡・小林琴・平岡保三・白石道雄・代田要・小林美代・青柳善一郎・宮本欽司・栗原精・遠藤久三郎・本島善作・樋口武志・中根孝之助・野尻与頭・小川寿々香・小川隆男・小川襄・北野高弥・小川隆四郎・小川誠●一九四二・二
- 一二九―産児制限と婦人付サンガー夫人小伝(よみうり叢書3) ●加藤静枝●読売新聞社●一九四六・五
- 一二〇―産児制限の知識(国民医学新書) ●太田典礼●大洋出版社●一九四六・五●京都
- 一一一―食糧危機と産児制限(人口問題研究所研究資料第二号) ●岡崎文規●厚生省人口問題研究所●一九四六・七
- 一一二―産児制限ニ関スル世論ノ動向(人口政策委員会参考資料) ●編||人口問題研究会●一九四六・八
- 一一三―産児制限問題の与論調査(読売新聞社実施紙上討論会資料) ●編||人口問題研究会●一九四六・九
- 一一四―産児制限と社会主義(人口問題研究所研究資料第四号) ●本多竜雄●厚生省人口問題研究所●一九四六・九
- 一一五―産児制限に就いて ●加藤静枝・山本杉子・馬島間・田中耕太郎 編||人口問題研究会●一九四六・一〇
- 一二六―妊娠調節相談(婦人衛生読本) ●編||平井政良(妊娠調節研究所) ●良文堂書店●一九四六・一〇
- 一二七―医学上より見たる産児制限と其方法 ●久慈直太郎●診断と治療社●一九四六・一一
- 一二八―産児制限の研究 ●安藤画一・館稔・横田年・瀬木三雄・山崎佐・松本寛 編||安藤画一●日本臨床社●一九四七・二●大阪
- 一二九―産児制限実態調査ニ関スル概況(人口問題研究所研究報告概要) ●篠崎信男・小林和正●一九四七・三

〔第9巻〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 一三〇―サンガー夫人伝と産児調節展望 ●式場隆三郎 表紙・扉絵||ピアスレー ●大元社●一九四七・四
- 一三一―産児制限の基礎的理論(新マルサス主義の概観(人口問題研究所研究資料第十七号)) ●島村俊彦●厚生省人口問題研究所●一九四七・六
- 一三二―産児調節運動に対する吾等の態度(案) ●日本産児調節連盟●一九四七・七

- 一三三―産児制限の解説・大島正雄・三星社・一九四七・七・京都
- 一三四―請願・日本産児調節連盟・一九四七・九
- 一三五―産児制限問題概観(人口問題研究所研究資料第十六号)・本多竜雄・厚生省人口問題研究所・一九四七・一〇
- 一三六―産児制限実態調査結果の概報(人口問題研究所研究資料第二二号)・篠崎信男・金子章・小林和正・厚生省人口問題研究所・一九四七・一〇
- 一三七―人口過剰とその対策(産児制限の理論と実際)・北岡寿逸・日本経済新聞社・一九四七・一〇
- 一三八―最新各種避妊実行法詳説・岡田廉三・青柿善一郎 校閲||中野理・優生科学協会・一九四七・一一・兵庫
- 一三九―報告書・日本産児調節連盟本部・一九四七・一二
- 一四〇―安全確実妊娠調節の手引(図説)・竹田津六二・菊書房・一九四七・一二
- 一四一―産院事件に対する声明・日本産児制限研究会・一九四八
- 一四二―第3回役員会御知らせ/役員会延期御通知・日本産児調節連盟総務部・一九四八・二
- 一四三―産児制限の自由と人口問題調査会設置に関する請願・産児制限普及会・一九四八・七
- 一四四―(云のよびかけ)・馬島憐・一九四八・七
- 一四五―西多摩郡(青梅町・霞村)の産児制限実態調査に関する集計結果表(人口問題研究所研究報告会報告資料)・篠崎信男・一九四八・七
- 一四六―産児調節法(改訂再版)・中井博松・那須耐成・日本産児調節会出版部・一九四八・八・大阪
- 一四七―誰にも出来る産児調節の方法・述||馬島憐 編||浜田格・新女性文化協会・一九四八・一〇
- 一四八―正しい受胎調節法(愛育の栞1)・森山豊・恩賜財団母子愛育会・一九四八・一〇
- 一四九―設立趣意書・日本優生保護協会・一九四八・一一
- 一五〇―産児制限普及会の建議・産児制限普及会・一九四八・一二
- 一五一―図解ペツサリー式妊娠予防法教本・天野景康・天野文字 序||マーガレット・サンガー・日本妊娠調節研究所・一九四八・一二

〔第10巻〕

資料番号―資料名・著者・編者名・発行所・発行者名・発行年月・発行地(東京以外のみ記載)

一五二―〔註文ハガキ〕・BCL西日本本部・一九四九・福岡

- 一五三―B.C.L 優生結婚と産児調節を指導する会(B.C.L資料第1号) ● B.C.L西日本本部 ● 一九四九 ● 福岡
- 一五四―北多摩郡全市町村の産児制限実態調査に関する集計結果表 ● 篠崎信男 ● 厚生省人口問題研究所 ● 一九四九 ● 三
- 一五五―避妊調査票 ● 厚生省人口問題研究所 ● 一九四九
- 一五六―東京都を中心とする産児制限の実態に関する資料(増補) ● 篠崎信男 ● 厚生省人口問題研究所 ● 一九四九 ● 三
- 一五七―厚生省・人口問題研究所「産児制限」実態調査結果速報(第二次)について ● 厚生省人口問題研究所 ● 一九四九 ● 三
- 一五八―産制及び移民問題を中心とするタムソン博士の発言とその反響(人口問題研究所研究資料第三十八号) ● 厚生省人口問題研究所 ● 一九四九 ● 三
- 一五九―報告書自昭和23年4月1日至昭和24年3月31日 ● 産児制限同盟九州支部 日本産児調節連盟九州支部 ● 一九四九 ● 三 ● 福岡
- 一六〇―世論調査産児調節について(新世連第3回調査) ● 新聞世論調査連盟 ● 一九四九 ● 四
- 一六一―産児調節についての世論調査結果表(新世連第三回調査) ● 一九四九 ● 四
- 一六二―正しい妊娠調節教本(婦女界四月号別冊附録) ● 加藤シツエ・奥むめお・夫野景康・保坂孝雄・松本寛・市川篤二 ● 婦女界社 ● 一九四九 ● 四
- 一六三―社団法人日本防貧協会運動方針書 ● 一九四九 ● 四
- 一六四―(母性文化協会(仮称)設立總會案内) / 母性文化協会(仮称)設立趣意書 / 母性文化協会(仮称)定款案 ● 一九四九 ● 四
- 一六五―家庭産児制限の実際 ● 藤井久四郎 装幀 || 渡辺伸一 ● 有楽出版社 ● 一九四九 ● 五
- 一六六―諸外国における産児制限の普及状況(研究資料第三十九号) ● 篠崎信男 ● 厚生省人口問題研究所 ● 一九四九 ● 六
- 一六七―計画産児の知識と実際(別冊政界ジープNo.1:産児調節特集)
 - 林讓治・戸田正三・古屋芳雄・三國一義・田中耕太郎・馬島個・天野文子・野坂竜・本多竜雄・大石武一・深川タマエ・福田昌子・林俊一・河野金昇・葦沢慶子・吉田秀夫・浅田一・安藤画一・春日みつ・慶松一郎・加藤シツエ・高橋梵仙・式場隆三郎・安倍雄吉・二木秀雄・谷口弥三郎・賀川豊彦・山本杉・河原崎長十郎・渡辺紳一郎・新妻イト・東京トリビュン社 ● 一九四九 ● 六
- 一六八―受胎調節及び墮胎に関する各国の態度並に施設の概要(人口問題研究所研究資料第四〇号) ● 島村俊彦 ● 厚生省人口問題研究所 ● 一九四九 ● 七
- 一六九―妊娠中絶(墮胎、死産)の割合に関する資料(人口問題研究所研究資料第四四号) ● 篠崎信男 ● 厚生省人口問題研究所 ● 一九四九 ● 七
- 一七〇―避妊の知識(ルック・エンド・ヒヤ)第一巻第四号附録) ● 安倍雄吉・池上政人・秦清三郎・松本寛・谷口弥三郎・牛丸義留 ● 診察協力会出版部 ● 一九四九 ● 七
- 一七一―避妊と妊娠中絶の実際知識 ● 松山玄三雄・松山みどり ● 京北書房 ● 一九四九 ● 七
- 一七二―産児制限と性生活の実態的研究(下町に於ける資料) ● 篠崎信男 ● 人口問題研究所 ● 一九四九 ● 七
- 一七三―図解避妊読本(幸福な家族設計) ● 三木行治・館稔・牛丸義留・安藤画一・森山豊・瀬木三雄・石垣純二・一丁田健一・長谷川敏雄・安倍雄吉・大野博・佐伯誠一
序文 || 林讓治 表紙、図版 || 滝川清 監修 || 厚生省 ● 婦人画報社 ● 一九四九 ● 七

- 一七四―産児制限問題の人口政策的考察(人口問題研究所研究資料第四三三号)●本多竜雄●厚生省人口問題研究所●一九四九・七
- 一七五―ハーポスィヴ・サンプリング・メソッドによる産児制限に関する輿論調査その一(人口と産業問題振興会研究資料第一号)●渡辺万里江●人口と産業問題振興会●一九四九・八
- 一七六―産児制限の正しい知識●帆足計・太田典礼 編||日産協人口調節問題懇談会●日本産業協議会●一九四九・一〇
- 一七七―産児調節と夫婦性生活の実態(附優生保護法)●篠崎信男 推薦の辞||岡崎文規●村松書店●一九四九・一一
- 一七八―御知らせとお願ひまで●篠崎信男●厚生省人口問題研究所●一九四九・一一
- 一七九―現代避妊法早わかり(附受胎可能期早わかり暦)●館稔・牛丸義留・安倍雄吉 監修||厚生省●日本防貧協会●一九四九・一一
- 一八〇―受胎調節便覧●編||厚生省公衆衛生局●極東通信社●一九四九・一二

〔第11卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 一八一―社団法人日本家族設計協会定款●一九五〇
- 一八二―農村人口収容力調査(岩手県紫波郡飯岡村・香川県木田郡井戸村・香川県香川郡一宮村(人口問題研究所研究報告資料))●中島竜太郎・南雲雪夫●厚生省人口問題研究所●一九五〇・三
- 一八三―農村人口収容力に関する調査(人口問題研究所研究報告資料)●中島竜太郎・南雲雪夫●一九五〇・三
- 一八四―人工妊娠中絶の諸問題(改正優生保護法詳解)●高橋勝好・牛丸義留●日本医事新報出版部●一九五〇・三
- 一八五―報告書(自昭和24年4月1日至昭和25年3月31日)●産児制限普及同盟(西日本本部)●一九五〇・三●福岡
- 一八六―(日本産児制限普及会アンケート)●熊本県御船保健所●一九五〇・四●熊本
- 一八七―(日本産児制限普及会アンケート)●日本製鉄八幡健康保険組合製鉄健康保険館●一九五〇・四●福岡
- 一八八―主旨●日本母性科学研究所●一九五〇・一〇
- 一八九―受精防止の避妊用具(石崎式妊娠調節弁の解説)●石崎科学研究所●一九五〇・一〇●大阪
- 一九〇―優生保護法施行後の人工妊娠中絶の状況に関する研究(第一報)(人口問題研究所研究資料第六七号)●良田圭子●厚生省人口問題研究所●一九五〇・一一
- 一九一―産児制限普及会協議会御案内/産児制限普及会今後の活動方針(案)●加藤シズエ・北岡寿逸●一九五〇・一一
- 一九二―産児制限の促進と人口問題解決に関する新機関設置に関する請願(案)●産児制限普及会●一九五〇・一二

- 一九三―産児制限普及会趣意書／産児制限普及会規約●一九五〇・二二
- 一九四―日本の家庭に適した新しい避妊法●計画産児連盟神戸診療所●一九五〇●兵庫
- 一九五―幸福のしるべ●計画産児連盟相談部●一九五〇●兵庫
- 一九六―社団法人計画産児連盟神戸診療所患者病歴●一九五〇●兵庫
- 一九七―ごあいさつ／お知らせ●計画産児連盟●一九五〇●兵庫
- 一九八―借用書●計画産児連盟母の金庫●一九五〇●兵庫
- 一九九―子供を産みたくない方／夕すゞみ幻灯の会●平野産院／計画産児連盟●一九五〇●兵庫
- 二〇〇―相談券●優生科学協会母の相談所●一九五〇●兵庫
- 二〇一―妊娠調節の一切の御相談は母の相談所へ●優生科学協会●一九五〇●兵庫
- 二〇二―家族計画相談カード●一九五〇●兵庫
- 二〇三―実行することだけが今日の産児調節運動である●馬島憐●一九五一
- 二〇四―最も新しい最も確実な通経法に依る産児調節●解説Ⅱ大滝正義●産調優生相談所●一九五一
- 二〇五―母性科学協会設立趣意書●母性科学協会準備委員会●一九五一・一
- 二〇六―産児制限の促進と人口問題解決に関する新機関設置に関する請願●産児制限普及会●一九五一・二
- 二〇七―報告書自昭和25年4月1日至昭和26年3月31日●産児制限普及同盟西日本本部●一九五一・三●福岡
- 二〇八―日本における産児制限の概観(人口問題研究所研究資料第七〇号)●P. K. ウエルプトン●厚生省人口問題研究所●一九五一・四
- 二〇九―請願書(マッカーサー宛)●産児制限普及会●一九五一・五
- 二一〇―A. Y. 式新産児調節法●矢野中●日本人口問題研究所●一九五一・五
- 二一一―(人会の案内)●日本母性科学研究所●一九五一・六
- 二一二―「パイプ式妊娠調節弁」の有償見本頒布の案内)●石崎科学研究所●一九五一・七●大阪
- 二一三―我国人口問題に関して朝野の識者に訴へる●産児制限普及会●一九五一・七
- 二一四―産児制限批判●西野入徳●中央出版社●一九五一・八
- 二一五―人口問題に関する意見書●産児制限に関する諸団体●一九五一・九

- 二二六―〔相談所への支援要請〕●丹下坂宇良●一九五一・九
- 二二七―平和な家庭生活を望まれる主婦に御知らせ●日本受胎調節指導所●一九五一・九
- 二二八―産児調節実践普及国民大会開催につき御案内●日本産児調節連盟●一九五一・二一
- 二二九―東北三県における産児調節実態調査票未提出者の未提出理由及び調査に対する意見の実情について(人口問題研究所研究資料第七三号) ●篠崎信男●厚生省人口問題研究所●一九五一・二二
- 二三〇―和歌山県下における産児制限実態調査結果の概要(人口問題研究所研究資料第74号) ●篠崎信男●厚生省人口問題研究所●一九五一・二二
- 二三一―避妊の実行不実行者別にみた死産率に関する一資料
群馬、和歌山、岡山、香川、鹿児島五県下における出産歴調査からの特殊集計(人口問題研究所研究資料第七五号) ●篠崎信男●厚生省人口問題研究所●一九五一・二二
- 二二二―日本産児調節連盟の沿革とその業績●一九五一
- 二二三―フオード財団に寄附金申請書(案)●一九五一
- 二二四―日本の過剰人口解決に関しフオード財団へ寄附申請参加勧誘先●一九五一
- 二二五―〔書状〕フオード財団に寄附金申請書(訳文)ノ日本の過剰人口解決に関しフオード財団へ寄附申請参加署名者ノ日本の過剰人口解決の為の教育計画 ●北岡寿逸●一九五一・二二
- 二二六―県別及び都市町村別産児調節実態調査集計結果表昭和24・25年度全国17県に於る調査(人口問題研究所研究資料第76号) ●篠崎信男●厚生省人口問題研究所●一九五二・二
- 二二七―受胎調節に関する世論調査(世論調査報告書調査番号48) ●総理府国立世論調査所●一九五二・三
- 二二八―講演と映画の集い「家族計画普及のために」●千代田区教育委員会・日赤第二地区連合分団●一九五二・三
- 二二九―パイプ式妊娠調節弁Benの批判●藤森速水●一九五二・四
- 二三〇―フオード財団寄附申請に関する八人委員会申合せ事項●一九五二・五
- 二三一―フオード財団宛寄附申請書(案)●永井亨●一九五二

〔第12巻〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 二三二―出産歴調査について●厚生省人口問題研究所・総理府統計局●一九五二
- 二三三―出産歴調査票●厚生省人口問題研究所・総理府統計局●一九五二・七
- 二三四―出産歴調査の要領及び記入の仕方附産児調節調査の要領●厚生省人口問題研究所・総理府統計局●一九五二・七

- 二三五―産児調節調査票／「産児調節」の調査についてお願い／〔封筒〕●厚生省人口問題研究所●一九五二・七
- 二三六―幸福な家族計画 受胎調節と妊娠の正しい知識●瀬木三雄●二宮書店●一九五二・七
- 二三七―産児調節に対する国内の関心と普及状態〔第二回〕●本多竜雄●毎日新聞社人口問題調査会●一九五二・一〇
- 二三八―アメリカ産児制限運動の母サンガー夫人を迎えて日本の人口問題について考えましよう●産児制限普及会●一九五二・一〇
- 二三九―出生率高低の社会的要因に関する一考察 岡山県下における調査(人口問題研究所研究資料第八〇号)●林茂●厚生省人口問題研究所●一九五二・一〇
- 二四〇―サンガー女史一行日程表●毎日新聞社人口問題調査会●一九五二・一〇
- 二四一―決議●東京母性保護会下谷地区委員●一九五二・一一
- 二四二―受胎調節の衛生教育テキスト(NURSE'S LIBRARY No.108)●原清 推薦のことば||石垣純二・滋賀秀俊・斎藤録一●医学書院●一九五二・一二
- 二四三―第2次(昭和27年)出産力調査の速報(人口問題研究所研究資料第87号)●厚生省人口問題研究所●一九五三・三
- 二四四―受胎調節法の実際 受胎調節講習会・質疑解説集●中井博松●志摩書房●一九五三・四
- 二四五―第2次(1952年)出産力調査●岡崎文規●厚生省人口問題研究所●一九五三・六
- 二四六―産児調節の普及状況に関する調査●本多竜雄 序言||岡崎文規●厚生省人口問題研究所●一九五三・六
- 二四七―わが家の人口計画 受胎調節と不妊治療●安藤画一●慶応通信●一九五三・七
- 二四八―優生保護相談所の実情と受胎調節指導の基本問題●高口保明●関東地区優生保護研究会●一九五三・八●神奈川
- 二四九―長野県農村における受胎調節指導について第1報(優生保護研究会資料第1号)●長野県優生保護研究会(青木太郎・小島温・篠原美代子)●一九五三・一二●長野
- 二五〇―丈夫な子供明るい家庭●長野県優生保護研究会●一九五三●長野

〔第13巻〕

資料番号―雑誌名 巻号数●編者名(発行者名)●発行所●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 二五一―産児制限 第壹巻第壹号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二八・六
- 二五二―産児制限 第壹巻第貳号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二八・七
- 二五三―産児制限 第壹巻第四号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二八・九

- 二五四―産児制限 第壹卷第五号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二八・二〇
- 二五五―産児制限 第壹卷第六号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二八・二一
- 二五六―産児制限 第壹卷第七号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二八・二二
- 二五七―産児制限 第貳卷第壹号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二九・一
- 二五八―産児制限 第二卷第二号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二九・二
- 二五九―産児制限 第二卷第四号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二九・四
- 二六〇―産児制限 第二卷第五号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二九・五
- 二六一―産児制限 第二卷第六号●大滝正義●産児制限運動聯盟●一九二九・六
- 二六二―産児制限評論 第二卷第十号●青野即本●産児制限普及会●一九二九・一〇
- 二六三―産児制限評論 第二卷第十一号●青野即本●産児制限普及会●一九二九・一一
- 二六四―産児制限評論 第三卷第二号●青野即本●産児制限普及会●一九三〇・二
- 二六五―産児制限評論 第三卷第三号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・三
- 二六六―産児制限評論 第三卷第四号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・四
- 二六七―産児制限評論 第三卷第五号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・五
- 二六八―産児制限評論 第三卷第六号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・六
- 二六八_二―産児制限評論 第三卷第七号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・七
- 二六九―産児制限評論 第三卷第八号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・八
- 二七〇―産児制限評論 第三卷第九号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・九
- 二七一―産児制限評論 第三卷第十号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・一〇
- 二七二―産児制限評論 第三卷第十一号●倉持善三郎●産児制限評論社●一九三〇・一一
- 二七三―産児調節 第四卷第五号●平野馨●産児制限評論社●一九三一・六
- 二七四―産児調節 第四卷第六号●平野馨●産児制限評論社●一九三一・七
- 二七五―産児調節 第五卷二月号●平野馨●産児調節評論社●一九三二・三

- 二七六―産児調節 第五卷九月号 ●平野馨 ●産児調節評論社 ●一九三二・九
- 二七七―産児調節 第六卷第二号 ●足達三郎 ●産児制限評論社 ●一九三三・二
- 二七八―産児調節 第六卷第四号 ●足達三郎 ●産児制限評論社 ●一九三三・五
- 二七九―産児調節 第六卷第六号 ●足達三郎 ●産児制限評論社 ●一九三三・七
- 二八〇―産児調節 第六卷第七号 ●足達三郎 ●産児制限評論社 ●一九三三・八
- 二八一―産児調節 第六卷第八号 ●足達三郎 ●産児制限評論社 ●一九三三・一〇

〔第14卷〕

資料番号―雑誌名 卷号数 ●編者名(発行者名) ●発行所 ●発行年月 ●発行地(東京以外のみ記載)

- 二八二―小家族 第一号 ●石本恵吉 ●日本産児調節研究会 ●一九二二・五
- 二八三―プロB・Cニユース 2号 ●無産者産児制限同盟 ●一九三一・六
- 二八四―プロB・Cニユース 号外い ●無産者産児制限同盟 ●一九三一・六
- 二八五―プロB・Cニユース 五号 ●プロB・C同盟 ●一九三一
- 二八六―プロB・Cニユース 6号 ●B・C展覧会号 ●無産者産児制限同盟 ●一九三一・一〇
- 二八七―プロB・Cニユース No.7 ●無産者産児制限同盟 ●一九三一・一〇
- 二八八―プロB・Cニユース No.11 ●無産者産児制限同盟 ●一九三二・四
- 二八九―産児制限運動 第一号 ●中根孝之助 ●無産者産児制限同盟 ●一九三一・九
- 二九〇―プロレタリア産児制限運動 第2号 ●中根孝之助 ●無産者産児制限同盟 ●一九三一・二二
- 二九一―プロB・Cニユース大衆版 第四号 ●大衆産児制限 ●無産者産児制限同盟 ●一九三三・七
- 二九二―産児調節ニユース 第一号 ●石本静枝 ●日本産児調節婦人同盟本部 ●一九三四・五
- 二九三―産調ニユース 第一報 ●日本産児調節連盟総務部 ●一九四七・一〇
- 二九四―産児制限 第一卷第一号 ●千徳満津 ●健康世界社 ●一九四七・一〇
- 二九五―産児制限 第二卷第二号 ●千徳満津 ●健康世界社 ●一九四八・四

- 二九六―産調時報 第一号●馬島憊●日本産児調節連盟総務部●一九四八・二一
- 二九七―産調時報 第二号●馬島憊●日本産児調節連盟総務部●一九四九・一
- 二九八―日本産児計画情報 第1巻第1号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五〇・三
- 二九九―日本産児計画情報 第2巻第1・2号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五一・六
- 三〇〇―日本産児計画情報 第2巻第3・4号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五一・二二
- 三〇一―日本産児計画情報 第3巻第1・3号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五二・九
- 三〇二―日本産児計画情報 第4巻第1号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五三・三
- 三〇三―日本産児計画情報 第4巻第2号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五三・六
- 三〇四―日本産児計画情報 第4巻第3・4号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五三・二二
- 三〇五―日本産児計画情報 第5巻第1号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五四・三
- 三〇六―日本産児計画情報 第6巻第4号●天野景康●日本妊娠調節研究所●一九五五・二二
- 三〇七―研究ニユース No.3●高田重義●避妊研究会●一九五一・四
- 三〇八―B.C.ニユース●山崎初三郎●バスコン研究会●一九五二・一●京都
- 三〇九―避妊研究ニユース 第六号 避妊法批判●高田哲孝●日本計画出生協会●一九五二・三
- 三一〇―母性新聞 第1号●大川竜夫●関西優生協会●一九五二・五●大阪
- 三一―母性新聞 第2号●大川竜夫●関西優生協会●一九五二・五●大阪
- 三二―母性新聞 第3号●大川竜夫●関西優生協会●一九五二・六●大阪
- 三三―母性新聞 第4号●大川竜夫●関西優生協会●一九五二・六●大阪
- 三四―母性新聞 第5号●大川竜夫●関西優生協会●一九五二・七●大阪
- 三五―母性新聞 第6号●大川竜夫●関西優生協会●一九五二・七●大阪
- 三六―母性新聞 第7号●大川竜夫●関西優生協会●一九五二・八●大阪
- 三七―母性新聞 第11号●篠崎耕太郎●母性新聞社●一九五二・一一
- 三八―避妊の研究 No.1●川上容徹●太田リング研究所●一九五二・七

〔第15卷〕

資料番号——資料名・著者・編者名・発行所・発行者名・発行年月・発行地（東京以外のみ記載）

三一九―戦後経営人口政策完●吳文聡●丸善●一九〇五・一

三二〇―日本人種改造論●海野幸徳●海野幸徳●一九一〇・六

三二一―民種改善模範夫婦●沢田順次郎 序||片山国嘉・花井卓蔵●啓成社●一九一一・九

〔第16卷〕

資料番号——資料名・著者・編者名・発行所・発行者名・発行年月・発行地（東京以外のみ記載）

三二二―妊娠及産二因ル死亡統計(自治三十二年至同四十一年)●編||内閣統計局 緒言||花房直三郎●一九二四・三

三二三―民族衛生学●氏原佐蔵 校閲||北島多一●南江堂●一九二四・一一

三二四―社会衛生学●福原義柄●南江堂●一九一五・六

三二五―人類の遺伝●山内繁雄●大日本学術協会●一九二七・二

三二六―保健衛生調査会第一回報告書●保健衛生調査会●一九二七・五

〔第17卷〕

資料番号——資料名・著者・編者名・発行所・発行者名・発行年月・発行地（東京以外のみ記載）

三二七―優生学と人生●田中香涯●大鏡閣●一九二三・三

三二八―遺伝と人性●斎藤茂三郎●中文館書店●一九二六・一

三二九―優生学的社会改造運動(学芸講演通信社パンフレットNo.25)●講演||池田林儀 編辞||嘉手苅信也●学芸講演通信社●一九二六・九

三三〇―ユウゼニツクス(岩波講座生物学)●小泉丹●岩波書店●一九三〇・二

三三一―人口食糧問題調査会人口部答申説明●人口食糧問題調査会●一九三〇・四

三三二―優生学と社会生活●建部遜吾●雄山閣●一九三二・一

〔第18卷〕

資料番号——資料名・著者・編者名・発行所・発行者名・発行年月・発行地（東京以外のみ記載）

- 三三三—（人口対策研究会設立挨拶状）●人口対策研究会●一九三三・七
- 三三四—民族優生保護法案●荒川五郎●一九三四
- 三三五—女性文化講話（入学・青春期・結婚・優生学・母の再教育）●市川源三●明治図書●一九三五・三
- 三三六—優生学概論●永井潜●雄山閣●一九三六・二
- 三三七—優生講話●阿部文夫●雄山閣●一九三六・六
- 三三八—人口問題の見地より見たる国民保健問題（人口問題資料第二十一輯）●佐佐木行忠・下村宏・南崎雄七・徳村謙吉●人口問題研究会●一九三七・二
- 三三九—断種問題小論●述||菊地甚一●日本犯罪学会●一九三八・五
- 三四〇—全国精神病院在患者遺伝調●厚生省予防局●一九三九・一〇
- 三四一—民族優生制度案要綱●一九三九・一〇
- 三四二—出産力調査案要綱●人口問題研究所●一九三九・一一
- 三四三—優生制度案要綱（国民体力審議会ノ答申）●一九三九・一二

〔第19卷〕

資料番号——資料名・著者・編者名・発行所・発行者名・発行年月・発行地（東京以外のみ記載）

- 三四四—国防国家の建設と結婚報国聯盟の提唱●宇原義豊●一九四〇
- 三四五—御祝●熊野村（島根県八束郡）●一九四〇●島根
- 三四六—優生法案●一九四〇・二
- 三四七—昭和十四年人口動態推計（事変方人口現象ニ及ボシタル影響ニ関スル資料一）●人口問題研究所●一九四〇・二
- 三四八—各国優生関係法令●厚生省予防局●一九四〇・二
- 三四九—国民優生ニ関スル法律案ノ帝国議会ニ於ケル審議ノ経過●厚生省●一九四〇・三
- 三五〇—赤十字博物館報（第貳拾参号）日本民族優生展号●林春雄・北岡寿逸・斎藤响・渡辺定・麓保孝●日本赤十字社●一九四〇・四

- 三五二―支那事変による出生及死亡の変化(人口問題研究資料二) ●岡崎文規 ●人口問題研究所 ●一九四〇・八
- 三五三―昭和十三年及昭和十四年各年男子出生数ノ減ト其ノ対策トシテノ死亡率改善ニ就テ(人口問題研究資料二) ●中川友長 ●人口問題研究所 ●一九四〇・八
- 三五三―断種の理論と国民優生法の解説 ●池見猛 ●巖松堂書店 ●一九四〇・八

〔第20卷〕

資料番号―資料名 ●著者・編者名 ●発行所・発行者名 ●発行年月 ●発行地(東京以外のみ記載)

- 三五四―出産力調査結果速報 ●人口問題研究所 ●一九四〇・九
- 三五五―人口問題講演集第十三輯(人口問題資料第四十一輯) ●北岡寿逸・高野六郎・古屋芳雄 序に代へて||佐佐木行忠 ●人口問題研究会 ●一九四〇・九
- 三五六―優生学の理論と実際特に精神医学との関係に於て ●吉益脩夫 序||三宅鉦一 ●南江堂 ●一九四〇・九
- 三五七―優生制度資料(カード) ●厚生省予防局 ●一九四〇
- 三五八―血族結婚について ●厚生省優生結婚相談所 ●一九四〇
- 三五九―家系調査要綱 ●厚生省・厚生科学研究所 ●一九四一・一
- 三六〇―人口政策確立要綱(閣議決定)(企画院第三部新後第二号) ●企画院 ●一九四一・一
- 三六一―予防衛生ニ関スル法規及例規附参考資料 ●厚生省予防局 ●一九四一・三
- 三六二―結婚と迷信 ●編||厚生省優生結婚相談所 ●国民優生聯盟 ●一九四一・三
- 三六三―断種法(京城帝国大学法学会叢刊5) ●藤本直 ●岩波書店 ●一九四一・三

〔第21卷〕

資料番号―資料名 ●著者・編者名 ●発行所・発行者名 ●発行年月 ●発行地(東京以外のみ記載)

- 三六四―結婚のすすめ ●編||厚生省優生結婚相談所 ●国民優生聯盟 ●一九四一・四
- 三六五―結婚と癩病 ●厚生省優生結婚相談所 ●一九四一・五
- 三六六―母性指針 ●白木正博 ●厚生省体力局 ●一九四一・五

- 三六七―国民優生図解●編||厚生省予防局●国民優生聯盟●一九四一・五
- 三六八―国土・人口・血液●古屋芳雄●朝日新聞社●一九四一・六
- 三六九―結婚新体制●石田博英・高野善一郎 序||熊谷憲一・高野六郎 附録||古屋芳雄・熊谷憲一・吉岡弥生・高島米峰・竹内茂代・大森正吉・大迫倫子・山田弁信・深尾須磨子・田中孝子・萩野憲祐●青磁社●一九四一・六
- 三七〇―結婚ニ於ケル健康問題ノ指導指針●厚生省●一九四一・八
- 三七一―ナチス民族人口政策摘要●本多竜雄●人口問題研究所●一九四一・八
- 三七二―保健婦に就いて●厚生省人口局●一九四一・一〇

〔第22卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 三七三―優生結婚と優生断種●青木延春●竜吟社●一九四一・一一
- 三七四―国民優生法●土井十二●教育図書●一九四一・一一●京都
- 三七五―保健所運営の実際●渡辺義雄・角田重信・安西勇●厚生省人口局●一九四一・一二
- 三七六―我国の人口問題と人口政策確立要綱(人口資料第一)●厚生省人口局●一九四一・一二
- 三七七―人口問題(生活の科学新書5)●美濃口時次郎●羽田書店●一九四一・一二
- 三七八―十八歳未満の子女の分布(人口問題研究資料一〇)●厚生省人口問題研究所●一九四一

〔第23卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 三七九―結婚行事改善指針(結婚問題資料第一輯)●結婚報国懇話会●一九四二
- 三八〇―事業場に於ける結婚奨励(結婚問題資料第二輯)●結婚報国懇話会●一九四二
- 三八一―結婚報国懇話会々則(附役員名簿)●一九四二・一
- 三八二―保健所ニ関スル法規及例規●厚生省人口局●一九四二・二

- 三八三―出生率より見たる現下の人口問題(人口資料第二)●厚生省人口局●一九四二・三
- 三八四―妻の婚姻年齢と出産力(結婚促進に関する資料一)大東亜建設民族人口資料三二●厚生省人口問題研究所●一九四二・三
- 三八五―結婚年齢と所得(結婚促進に関する資料二)大東亜建設民族人口資料三三●厚生省人口問題研究所●一九四二・三
- 三八六―最近に於ける結婚の傾向(暫定稿)結婚促進に関する資料三(大東亜建設民族人口資料二五)●厚生省人口問題研究所●一九四二・三
- 三八七―母子保護の重要性に就て(附参考資料)母子保護資料第一輯●厚生省人口局●一九四二・三
- 三八八―子宝報国の栞(母子保護資料第二輯)●厚生省人口局●一九四二・三
- 三八九―流早死産の防止(母子保護資料第三輯)●厚生省人口局●一九四二・三
- 三九〇―健民運動(人口資料第三)●厚生省人口局●一九四二・四
- 三九一―日本人を主とした人間の遺伝●駒井卓●創元社●一九四二・八●大阪
- 三九二―保健婦読本統篇●小宮山新一 関川暉峻義等●協同公社●一九四二・一一
- 三九三―増補優生結婚●安井洋●広文堂書店●一九四二・一一
- 三九四―国民優生法ニ関スル法規及通牒集(附国民優生法解説)●厚生省人口局●一九四三・三
- 三九五―人工妊娠中絶並に避妊手術の医学的適応標準に関する調査要綱●日本婦人科学会●一九四三・三

〔第24卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 三九六―全国助産婦並に産婦人科取扱病産院の分布状況(産院設置計画基礎調査第一報)●日本医療団総裁室調査部●一九四三・八
- 三九七―妊産婦保健関係資料●厚生省人口局母子課●一九四三・九
- 三九八―遺伝・人生・随想●田中義麿●三省堂●一九四三・一〇
- 古屋芳雄・中川友長・石川栄耀・館稔・上田正夫・窪田嘉彰・戸田貞三・水島治夫・熊沢清志・江西甚良・天岸敏介・斎藤潔・根岸美基・佐藤正・谷野富有夫・柿下正道・大橋政雄・内野稔・杉野為次・矢ヶ崎徳蔵・南崎雄七・館林宣夫・与謝野光・内田勇四郎・土田哲太郎・吉田章信・安田守雄・野津謙・柳沢利喜雄・鈴木繁・二村良臣 編川林春雄・古屋芳雄●朝倉書店●一九四三・一一
- 三九九―民族科学研究 第一輯(日本學術振興會(民族科学)第11特別委員会報告)

〔第25卷〕

資料番号——資料名・著者・編者名・発行所・発行者名・発行年月・発行地（東京以外のみ記載）

- 四〇〇—保健教本母性の保護改訂版●編||大政翼賛会文化厚生部 推薦の言葉||厚生省 推薦の辞||日本医師会●国民図書刊行会●一九四四・四
- 四〇一—熊本県医師会調熊本県人口増強基本調査結果概要（人口問題資料第4輯）●厚生省研究所人口民族部●一九四四・五
- 四〇二—ドイツの健民政策と母子保護事業●瀬木三雄●北光書房●一九四四・二二
- 四〇三—国民優生法第十六条に関する件（厚生省発衛第二二四号）●厚生省衛生局長●一九四六・七
- 四〇四—国民優生法中に一条挿入に関する建議案●田中たつ●一九四六・八
- 四〇五—新人口政策基本方針に関する建議●人口問題研究会●一九四六・一一
- 四〇六—日本人口の将来●館稔●世界経済調査会●一九四七・八
- 四〇七—優生保護法案●一九四七・一〇
- 四〇八—優生保護法案に対する検討結果要旨●人口問題研究所●一九四七・一〇
- 四〇九—民族の運命（日本国民に懇ふ（民族衛生叢書一））●永井潜 編||日本民族衛生協会●村松書店●一九四八・三
- 四一〇—優生保護法案送付／発議●谷口弥三郎・竹中七郎・中山寿彦・藤森真治●一九四八・六
- 四一一—優生保護法解説●谷口弥三郎・福田昌子●研進社●一九四八・一〇
- 四一二—優生保護法と妊娠中絶●安倍雄吉 序文||三木行治●時事通信社●一九四八・一二
- 四一三—人口問題資料II●厚生省予防局衛生統計部●一九四九・三
- 四一四—優生保護法の一部を改正する法律案送付／発議●谷口弥三郎・中山寿彦・竹中七郎・藤森真治●一九四九・四
- 四一五—優生保護法の一部を改正する法律案に対する修正案●一九四九・五
- 四一六—優生保護法の一部を改正する法律案●一九四九・五
- 四一七—優生保護法の一部を改正する法律案（参議院提出）に関する報告書●一九四九・五
- 四一八—優生結婚●竹内茂代 序||永井潜●万葉出版社●一九四九・六
- 四一九—母子衛生の主な統計●厚生省児童局母子衛生課●一九四九・七

〔第26卷〕

資料番号——資料名・著者・編者名・発行所・発行者名・発行年月・発行地(東京以外のみ記載)

- 四二〇—人命のための一つの抗議妊娠中絶に関する道徳的諸問題●カトリック文化協会●一九四九・八
- 四二一—優生保護法実施情況調査資料●厚生省公衆衛生局庶務課●一九四九・八
- 四二二—優生保護法実施情況統計資料自昭和二十四年一月至同六月●厚生省公衆衛生局庶務課●一九四九・九
- 四二三—人口・産業問題懇談会記録 ●稲葉秀三・二宮徳馬・岡崎勝男・岡崎文規・山添利作・山中篤太郎・小坂寛見・天野景康・美濃口時次郎・井上万寿蔵・西倉俊一・羽田・小船・安部●人口産業問題振興会●一九四九・九
- 四二四—母子衛生の主なる統計●厚生省児童局母子衛生課●一九五〇・四
- 四二五—優生と胎教(家庭の科学)●木田文夫●実業之日本社●一九五〇・一一
- 四二六—優生保護法関係法規集●厚生省公衆衛生局庶務課●一九五一・三
- 四二七—日本人口白書附最近の主要人口統計●編||人口問題研究会 はしがき||永井亨●人口問題研究会●一九五一・八
- 四二八—母子衛生の主なる統計昭和27年度版●厚生省児童局母子衛生課●一九五二・四
- 四二九—日本人口衛生協会設立趣意書●一九五二
- 四三〇—日本人口衛生協会設立記念シム。ホジウムへの御招待●日本人口衛生協会幹事●一九五二・六
- 四三一—財団法人人口問題研究会会員募集●人口問題研究会●一九五二
- 四三二—財団法人人口問題研究会募金趣意書●人口問題研究会募金世話人●一九五二・七
- 四三三—詳解改正優生保護法●高橋勝好●中外医学社●一九五二・九
- 四三四—優生保護法詳解●谷口弥三郎●日本母性保護医協会●一九五二・九●熊本
- 四三五—財団法人人口問題研究会寄附行為●一九五二・一〇
- 四三六—日本人口学会に於けるC・J・ギャンブル博士の講演●C・J・ギャンブル●一九五二・一一
- 四三七—財団法人人口問題研究会人口対策委員会第一回総会議事速記録●人口問題研究会●一九五三・七
- 四三八—財団法人人口問題研究会人口対策委員会第二回総会議事速記録●人口問題研究会●一九五三・七
- 四三九—人口対策としての家族計画に関する参考資料●人口問題研究会●一九五三・一一

四四〇―人口対策としての家族計画に関する参考資料(附表)●人口問題研究会●一九五三・一一

四四一―昭和28年1月、6月優生保護法関係統計(速報)●厚生省公衆衛生局庶務課●一九五三・一二

四四二―優生断種法トハ何力民族優生保護法案・遺伝病子孫防止法(民族衛生研究会資料第一号)●編||松原久人●民族衛生研究会●一九三八・一一

四四三―精神薄弱に関する遺伝の研究(民族衛生研究会資料第二号)●H・K・Ranz 訳||田波幸男 編||松原久人●民族衛生研究会●一九三八・一二

四四四―外国に於ける断種法実施状況(民族衛生資料第三号)●民族衛生研究会●一九三九・一

四四五―優生断種法に就て(民族衛生資料第四号)●民族衛生研究会●一九三九・三

四四六―昭和十三年十二月十七日開催民族衛生研究座談会速記録(民族衛生資料第六号)●安部磯雄・八木逸郎・高野六郎・松原久人・勝俣稔・林春雄・川上理一・古瀬安俊・三宅鉦一・正木亮・米沢常道●民族衛生研究会●一九三九・三

四四七―非常時局下に於ける民族衛生問題(民族衛生資料第五号)●林春雄●民族衛生研究会●一九三九・三

四四八―人類遺伝学の進歩(民族衛生資料第七号)●川上理一・三宅鉦一・小野清一郎・島中雄三・朝岡稲太郎・竹内茂代・安井洋・林謙・田中孝子・高野六郎・床次徳二・青木延春●民族衛生研究会●一九三九・五

四四九―民族優生とは何か(民族衛生資料第九号)●民族衛生研究会●一九三九・八

四五〇―文化環境と民族の変質(民族衛生資料第八号)●古屋芳雄●民族衛生研究会●一九三九・八

四五一―染色体と遺伝の関係(民族衛生資料第一〇号)●武部啓●民族衛生研究会●一九三九・一〇

四五二―独逸に於ける人類遺伝の研究及び民族衛生の現状(民族衛生資料第十一号)●満田久敏●民族衛生研究会●一九三九・一〇

四五三―民族優生制度案要綱に就て(附民族優生方策)(民族衛生資料第十二号)●民族衛生研究会●一九三九・一一

四五四―人類の染色体(民族衛生資料第十三号)●小熊捍●民族衛生研究会●一九四〇・三

〔第27卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

四五五―造化機論乾・坤●ゼームス・アストン 訳||千葉繁●千葉繁●一八七五・一一

四五六―男女交合得失問答●編||武部滝三郎・木村巳之助●一八八六・四

四七七―色情狂編完●クラフト・エビング 訳||法医学会●法医学会●一八九四・五

四七八―社会的色慾論●ヘーガール 訳||緒方正清 所感||般若居士 書状||霜山生・三宅秀・谷本富・佐々木曠・田中祐吉・渡辺霞亭●丸善●一八九九・四●大阪

- 四五九―男女之研究完 附録性愛論●大鳥居弄三・沢田順次郎 序||坪井正五郎・遠藤正●光風館書店●一九〇四・六
 四六〇―色情と其衛生●中谷驥一 序||金島苔水●青木嵩山堂●一九〇五・二

〔第28卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 四六一―男女と天才●片山正雄 原著||オットー・ワインゲル 序||谷本梨庵・東郷青楓 はしがき||竹風酔人●大日本図書●一九〇六・一
 四六二―色情と青年●原真男 序||山根正次 校:序||古川栄●丸山舎書籍部(衛生新報社)●一九〇六・二〇
 四六三―青年子女墮落の理由(附其矯救策)●日比野寛 序||中村進午●金港堂書籍●一九〇七・七
 四六四―応用問答生殖器健全法●平井成●脇秀文館●一九〇八・一〇
 四六五―性欲衛生論●駿河尚庸●佳趣堂●一九一〇・七●石川
 四六六―男女の性欲研究全●田中祐吉●雅俗文庫●一九一二・二一●大阪

〔第29卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 四六七―性欲哲学●青柳有美●東亜堂書房●一九一三・二
 四六八―婦人性学全●秋元洗二●水戸婦人病院・甲寅出版社●一九一四・一〇
 四六九―変態性欲論(同性愛と色情狂)●羽太鋭治・沢田順次郎 序||石川貞吉 書簡||本堂平四郎 跋||杉江董●春陽堂●一九一五・六

〔第30卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

- 四七〇―青年と性欲●藤浪鑑●大学評論社●一九一七・九
 四七一―現代性欲生活問題●米田庄太郎●中外新論社●一九一八・四
 四七二―性欲研究と精神分析学●榊保三郎 序文||大沢謙二●実業之日本社●一九一九・二

四七三―生命と性慾●川村多美二●大燈閣●一九一九・二

四七四―性慾の調節●三宅亀次郎・内田魯庵・田中王堂・加藤時次郎・宮崎虎之助・暮村隠士・向軍治・亭翁・松村介石・儿々子●国民書院●一九一九・八●大阪

〔第31卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

四七五―性の原理●下田次郎●同文館●一九二一・五

四七六―変態性慾講義●北野博美●日本変態心理学会●一九二二・一

四七七―夫婦の性的生活●田中祐吉●日本精神医学会●一九二二・九

四七八―性慾の社会的考察(新生協会叢書第三輯)●石原修●刀江書院●一九二五・二二

四七九―性的誘惑の種々相とその対策●前田誠孝●南海書院●一九二七・八

〔第32卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

四八〇―闘性術●高田義一郎●博文館●一九二八・一

四八一―変態性格者雑考(全変態文献叢書第参卷)●中村古峽●文芸資料研究会●一九二八・六

四八二―チャームとモーシヨン●羽太鋭治 序||名村春操・落合金風・遠藤門三・宮橋良三・沢田正二郎・花柳章太郎・石河薫・梅村善子●南海書院●一九二八・八

四八三―性篇(健康増進叢書)●永井潜・杉田直樹・松浦有志太郎・片山国嘉・土肥慶蔵●大阪毎日新聞社・東京日日新聞社●一九二九・九●大阪

四八四―家庭と性教育●ジ・デー・オールズ 訳||馬場嘉市・蜂谷貞子 著者の紹介||久布白落実●日曜世界社●一九三二・四●大阪

〔第33卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

四八五―結婚読本●永井潜●春秋社●一九三四・一

四八六―変態性医学講話●沢田順次郎●通俗医書刊行会●一九三四・六

四八七―妻のための性知識●阿部長助 編||性知識普及会●高千穂社●一九三六・九

〔第34卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

四八八―性科学(唯物論全書)●太田武夫●三笠書房●一九三七・四

四八九―性教育ハンドブック性と性病のはなし●市川篤二●ハンドブック社●一九四八・三

四九〇―性教育要綱指導者のための●安藤画一●今日社●一九四八・九

四九一―独身者の性生活●式場隆三郎●日比谷出版社●一九四九・四

四九二―純潔教育●定方亀代・谷村春子・大平エツ●明治図書出版社●一九四九・五

四九三―純潔教育基本要項(附性教育のあり方)●文部省純潔教育委員会・安藤画一 編||社会教育連合会●印刷局●一九四九・六

四九四―現代学生の性行動●朝山新一●臼井書房●一九四九・一〇●京都

四九五―性科学の基礎知識(新しい知識講座8)●安田徳太郎●世界評論社●一九五〇・一

〔第35卷〕

資料番号―資料名●著者・編者名●発行所・発行者名●発行年月●発行地(東京以外のみ記載)

四九六―日本人の性生活●篠崎信男 装幀||白石豊●文芸出版社●一九五三・一〇

四九七―未亡人生理・心理・実態・社会問題●林謙・堀秀彦・篠崎信男・福田昌子●要書房●一九五三・一〇

四九八―性教育はどのように行うか●大島正雄・大塚二郎・木村武子・木村万平・小見山栄一・富沢功・福岡武男・堀秀彦・望月衛●講学館●一九五三・一一

四九九―思春期の性意識(日本における性の調査報告大集第3巻)●岡田寅次 装幀||白石豊●文芸出版社●一九五三・一二

Ⅲ
雜誌編
(第13・14卷)
総目次

雑誌編（第13・14巻）総目次・凡例

- 一、本総目次は、『性と生殖の人権問題資料集成』のうち雑誌編にあたる第13巻及び第14巻に収録された諸雑誌の細目である。
- 一、原則として仮名遣いは原文のままとし、旧漢字、異体字はそれぞれ新漢字、正字に改めた。
また、明らかな誤植、脱字以外は原文のままとし、人名その他もあえて統一をはからなかった。
- 一、標題は原則として本文に従った。副題及び小題は基本的に――（ダッシュ）の後に示した。
- 一、括弧内の表記は、目次及び本文の標題にのっとったものである。
- 一、*印は編集部の補足であることを示す。
- 一、総目次はできるだけ詳細に記載するよう努めたが、目次、奥付等には触れなかった。広告については一部、またカットは署名の明瞭なもののみ採録した。
- 一、広告的要素が強く、繰り返し掲載される記事については、初出のみ採録した。
- 一、投稿者名及び「ニュース」欄の細目は採録しなかった。
- 一、原則として振り仮名は付さなかった。
- 一、原本にページ数の表記がない場合は、（ ）を付して補足した。

（編集部）

第13巻・総目次

『産児制限』（産児制限運動聯盟発行）

第一巻第二号 一九二八（昭和三）年七月三日

第一巻第一号（創刊号） 一九二八（昭和三）年六月三日

写真（バースコントロール レビューより）

表紙

産調運動の重要性

大滝

(1)

産児制限は医人の急務——全国の医家諸君に檄す!!

野尻 与頭

2〜4

優生学的妊娠調節

池田 林儀

5

産児制限は人道なり

小川隆四郎

6

吾人は産児制限を左の理由に依つて其の必要を知る（マーガレット、

サンガー）／米国陸軍大将TFオライアン曰く

G ハーデー、（*小川隆四郎訳）

6

フランスの人口事情

G ハーデー、（*小川隆四郎訳）

7

サンガー夫人の主張

（*サンガー）

8〜9

目醒めた母の叫び——東京神田A子より

9

BC・ニュース

10

産児制限問答

答・内藤 初代

11〜13

産調実話 彼女の悩み

福永久寿衛

14〜15

編輯後記

まさよし

16

巻頭言 科学者吉岡弥生に教ふ

大滝

(1)

社会理想

安部 磯雄

2〜3

産児制限に就て

新妻伊都子

4〜5

一哀話

5

社会政策としての産児制限

秋沢 定吉

4〜5

産児制限運動の先決問題

池田 林儀

6

サンガー夫人の主張(二)

（*サンガー）

7

フランスの人口事情(2)

デー・ハーデー、小川隆四郎訳

8

BC雑考

金子しげり

9

産児制限と救貧法

布施 亮

9〜12

子宮異状位置矯正治療器を避妊器に代用せる実験

島野 享

10〜11

支那問題

小川隆四郎

11

BC・ニュース

12

産調実話 彼女の悩み(二)

福永久寿衛

13〜14

産児制限と食物との関係に就いて

成田 清

13〜16

多産地獄（寄稿）

14〜15

読者通信

16

編輯後記

16

第一卷第四号 一九二八(昭和三)年九月三日

卷頭言 何たる弥縫道德ぞ	大滝	(1)
産調運動よりは南米へと熱心な移民論者鐘紡重役福原八郎氏の渡航 を送る辞	馬島 憫	2
グレンシャムの法則と長尾半平先生	大滝 正義	3
労農露国に於けるBC事情(上)——バース、コントロール レビ	(*ポール ルブリンスキー)、少川 沢	4 ~ 5
ユウより	清沢 洌	6 ~ 7
産調は各人の絶対自由なり	本庄 生	7
BC漫談 小学教師の妻	福永久寿衛	8
地方産調運動の特志家へ	秋沢 定吉	9
方法研究 薬物は何故に効かぬと云ふか		
新聞紙の案内広告欄に行列せる通経剤の意味と墮胎剤の区別を誤解 せる読者に一言併て独逸式注入の利害に就いて	島野 享	10
郵便配達夫の妻	N S 生	11 ~ 13
百年前の人口と百年後の人口	本誌記者	11 ~ 12
BC・ニュース		13 ~ 15
読者欄 多産地獄		14 ~ 15
読者通信		16
編輯後記		16

第一卷第五号 一九二八(昭和三)年一〇月五日

卷頭言 資本主義経済組織は我等をも亦拘束す	大滝	(1)
吾国人口の倍加年数と適度人口に就ての一考察(上)	大滝 正義	2 ~ 3
母親の思ふらんは	宮川 静枝	4
折にふれて満洲より	天野 信郎	5
世界初期の産児制限運動史(上)	石渡 安躬	6
高島米峰先生の産児制限反対論を駁す(二)	小川隆四郎	7 ~ 8
労農露国に於けるBC事情(下)	ポール ルブリンスキー、少川 沢	9 ~ 10
BC漫談 徳川三百年	本庄 生	10
一農村に於ける産調講演印象記	福永久寿衛	11
産調新聞		12 ~ 13
女流講師を交へて報知講堂での講演会——本聯盟が主催となり		14
新らしき同志新潟に相談所開く		14
BC・ニュース		12 ~ 14
読者質問		14
月やく薬にあざむかれたある夫婦者の手記	矢 島	15
読者通信		16
編輯後記	まさよし	16

巻頭言 斯界の先輩今何処?

大滝 (1)

より良き社会を次の時代に——産調運動の根本理由

竹内 茂代 2~3

野尻氏に問ひ——其の教を乞ふ

K O 生 4~5

ギル少年殺し

5

高島米峰先生の産児制限反対論を駁す(三)

小川隆四郎 6~7

不可能なる積極論

秋沢 定吉 8

病弱な多産婦人に与ふるの書

本庄 生 9~10

南洋の排日

10

BC・ニュース

10~12

性の科学 不妊症

K S 11~13

改良ペッサリウムとセットの作り方——産児制限は斯くして我々の

手に 井上 富 14

産調新聞

15

産児調節講演会開かる——主催は産調普及会

本所に相談所——馬島氏の令妹が

斯界の一人者小川氏の飛躍

新潟の林氏活躍の機を伺ふ

生活苦の自殺——我子を道づれに

読者質問

編輯後記

まさよし 16

新女性の躍進

大滝 正義 (1)

KO生に答ふ

野尻 与頭 2~3

記者より

3

衷心の叫びを世人に訴ふ

本庄道太郎 4~5

制限と調節——学者の世事に疎き事よ

O M 生 5

高島米峰先生の産児制限反対論を駁す(四)

小川隆四郎 6~7

支那事情

7

産児制限賛成の理由(1)

ゼームス、バー 8

眞の産調運動を誤る勿れ

秋沢 定吉 9

世界初期の産児制限運動史(二)

石渡 安躬 10~11

BC・ニュース

10~12

満洲を見て内地の青年に寄す

新妻伊都子 12~13

子宮内洗滌器に就いて

M H 生 14

産調新聞

15

旭川新聞の産調賛否紙上討論

消費組合婦人部産調の講演会

奥むめお氏を迎へて高知の産調熱昇る——福永氏大童の巻

産調の宣伝劇——名物男が計画

連続的講演会——小川氏が此の四日から

読者通信

編輯後記

大滝 16

第二巻第一号 一九二九（昭和四）年一月三日

一大理想の為に	大滝 正義	(1)
唯大衆の幸福あるのみ	安部 磯雄	2 ~ 3
産児制限と現行法の改正	野尻 与顕	4 ~ 5
高島米峰先生の産児調節反対論を駁す（五）	小川隆四郎	6 ~ 7
編輯予告		7
産児制限賛成の理由(2)	ゼームス、バー	8
誌上研究 因襲的に過信せらるゝ所謂「通経剤」	本庄 生	9
問題の問題		9
高知の農村より	奥 むめお	10
セックス秘話	本庄	11 ~ 13
BC・ニュース		11 ~ 13
産調新聞		14 ~ 15
日本医師会内で内務大臣へ勸説——人間の濫造を防げと		
答申案と其の内容／答申案作成者瀬川医学博士談（*瀬川）		
小島山泉薬局が本誌の無代配附——本所で毎月五百部づつ		
湖国界限に彗星の如く現はれた黄金ピン——難産一そう上人氣		
アルミニウム子宮栓の試み		
本議会上に於ける産調問題の建議——全国同志大いに捲く		
年末に於ける小川氏講演会		
物たらざる秋沢氏起つ		
避妊ピンの数		

旧を送りて新年を迎へ
編輯後記

大滝 正義 16
まさよし 16

第二巻第二号 一九二九（昭和四）年二月三日

産調の根本理由	大滝 正義	(1)
偽瞞道徳を排す	馬島 憊	2 ~ 4
市議戦に馬島ドクトル起つ——産調運動のプライド 同志須く声援を要す		4
印度の産調状態	ブラツプ、シャストリ、小川詔	2 ~ 4
日本の人口及食糧問題	新渡戸稲造	5
人間冒瀆!!	堺 真柄	6 ~ 7
墮胎罪と人工流産に就いて	成田 清	8
家庭性学 セックス問答		9 ~ 12
コロンタイの性道徳論	(*コロンタイ)	9 ~ 12
本聯盟の北海道支部が出来ました		12
特に地方婦人に寄す	本庄 生	13
産調新聞		14 ~ 15
北海道に本聯盟支部生る——成田氏の努力		
なぜ下町に小児の死亡が多いか——下町への産調宣伝必要		
具体化しつゝある産児調節運動——今議会上に於ける画策		
産児調節を命令		
人口統制諸方策——人口部特別委員会に於ける答申案		
米国の産調運動とスミス氏失敗の影響		
小川氏建策書頒布		

熱心なる飯塚秀吉氏

編輯後記

16

第二巻第四号 一九二九(昭和四)年四月三日

巻頭言 親の為めか児の為めか

大滝 正義 (3)

産児調節の社会的意義の発生

大滝 正義 4 ~ 7

墮胎と新刑法

溝江亮一郎 8 ~ 11

日本の人口問題(下)

トーマス、ジェー、ルブランク 12 ~ 15

若返り秘薬

成田 清 16 ~ 20

B・C断話

成田 清 16 ~ 20

細民の性行為

小牧 末子 21 ~ 22

先づ母性を多産より救へ

本庄道太郎 23 ~ 25

産調も恋も自由に恵まるゝ理想郷

本庄道太郎 23 ~ 25

BC小言 きのふ・けふ

成田生/本庄道太郎/石渡安躬 26 ~ 27

通信

成田生/本庄道太郎/石渡安躬 26 ~ 27

なやめる女性達から悲痛な叫び

28 ~ 29

編輯後記

30

第二巻第五号 一九二九(昭和四)年五月三日

満一年を迎へる聯盟の事業

産児制限運動聯盟 (1)

巻頭言 職を得ざる群

大滝 正義 (3)

近代的社会苦国民保健の問題——統制なき社会生活

大滝 正義 4 ~ 7

BC小言 きのふ・けふ

婦人内閣

廿四時間の収入

墮胎と新刑法 下

性教育者貝原益軒先生

洗滌法礼讃——文化婦人たちよ！お洗ひ下さい！

魅惑の指環

避妊と性生活

文士間の余論文芸春秋議會——産児制限案可決さる(『文芸春秋』より)

人間の不足する時と余る時

通信

編輯後記

第二巻第六号 一九二九(昭和四)年六月三日

8 ~ 9

8 ~ 9

9

10 ~ 16

16

17 ~ 20

17 ~ 20

21 ~ 22

23 ~ 25

26 ~ 27

28 ~ 29

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

30

南米移民（在ブラジル一移民寄） 19～20

十姉妹の様に下落した大学卒業生（*『東京朝日新聞』より）

広津 和郎 21～25

落ば籠(一) 成田 晴彦 22～27

滅びゆく小商人——文化生活に縁なき為か資本主義経済の発達故か

記者 26～27

読者通信 28～29

編輯後記 30

改題『産児制限評論』（産児制限普及会・産児制限評論社発行）

第二巻第一〇号 一九二九（昭和四）年一〇月三日

（*画）

賀詞 奉祝

産児制限普及会 表紙裏

敬愛する読者諸君！

としゑ 表紙

敬愛する同志諸君！

米国土産

Y、N 前付1

無産運動との関渉に於ける産児制限の必要に就いて(一)

安部 磯雄 1～4

落ば籠(二) 人工妊娠の話

貧民窟の話

小池 四郎 4～9

竹内女史を訪ねて

整理される東京市吏員二千人の海外へ進出計画

成田 晴彦 10～20

良い子が欲しければ三十歳過ぎて結婚なさい——山内シカゴ大学教授

授の帰朝談

小牧 末子 10～13

X光線放射による避妊法について

避妊ピンの送込法に就きて

野尻 与頭 25～29

産児制限に対する輿論(一)

防貧の一手段——産児制限の研究（*『東京日日新聞』より）

30～32

市立病院内に産児制限の相談所（*『時事新報』より）

惨めな細民の生活苦を救ふ施設——市当局の腹案を白上助役語

る／合理的な相談所を——白蓮燐子夫人語る（＊柳原白蓮）／
 悲惨な家庭には現実に必要な事——然し慎重な用意を忘れね様
 に（山室軍平） 32～33

産児制限に就いての感想 山内 房吉 34～35
 避妊は我々の自由で無ければならぬ 秋沢 定吉 36～39
 本年一月より三月まで人口増三十六万 前年に比すれば死亡増加
 ——内閣統計局の発表 39

現代人の性生活と産児調節——併せて吉岡弥生女史に質す

妊調実話 喜びを求むる人々 津村 秀男 40～42
 海のかなたより 43～47

フランス便り（MT）／メキシコ便り（布施亮・布施夫人） 48～50

BC・ニュース 51～53

法律問答 答・森 岩太郎 54～56

本会記事 56～58

編輯後記 編輯 子 58
 産児制限相談所一覽 後付1～4

第二巻第一号（一月二月合併号） 一九二九（昭和四）年二月三日

（＊画） とし 表紙 表紙裏・(1) 口絵1

産児制限相談所一覽 表紙裏・(1) 口絵1

産児制限普及及会会長安部磯雄先生（＊写真） 口絵2

十月十二日夜本誌関係者懇談会席上の撮影（＊写真）

BC春秋 青野 即本 2～3
 巻頭言 愛国者に警告す 4
 編輯前記 4

産児制限と日本の将来 安部 磯雄 5～7
 人口問題に対する新渡戸博士の楽観説を駁す 小川隆四郎 8～10
 無産運動との関渉に於ける産児制限の必要に就いて(二) 小池 四郎 11～15

ソヴェート・ロシアに於ける母性保護と托児所（ヤースリ） 秋田 雨雀 16～19

人口問題と日本の政策 宮崎 竜介 20～23

産児制限法の合理化に就きて——東京市の産児制限方法を評す 大宅 壮一 24～26

妊娠予防法批判 馬島 倂 26～29

かゝる場合には避妊せよ 北井 幾八 29～31

気の早い訴訟——市の産児制限案に対して 記者 31

落葉籠（四） 人工流産の話 成田 晴彦 32～42

産児制限雑感 黒旋 風 32～39

信用の出来る産調業者 沖山 林作 39～41

人工受胎の一方法（伯林大学泌尿科発表） 41

産児制限に対する輿論(一) 多産と貧困（＊『東京朝日新聞』より） 42～44

防貧の手段に産児制限を実施——四人以上の子持ち婦人に市が 方法を教授する（＊『東京日々新聞』より） 44
 全国的に巻き起した多産制限の大反響——われもくと教へを請 44
 ふ手紙、社会局へ山をなす（＊『東京朝日新聞』より） 44

妊調実話 喜びを求むる人々(二)

或晩の問答

BC・ニュース

独乙視察よりの通信

附録

政友会の金権物語——政界の裏のぞき

多産地獄(創作)

三宅島の或る女に就いて

悪人をつくるな

私は斯く叫ぶ

十一月、十二月合併号に就いて

法律問答

本会記事

愛読者の皆様へ

I・M生 45

古瀬生 47

大平 宇公 48

緑 夢 49

江口 渙 49

堺 真柄 50

足達 三郎 55

T S 生 62

答・森 岩太郎 65

産児制限評論会計係 67

後付 68

とし 表紙

青野 即本 2

編輯 係 3

安部 磯雄 4

英国の失業者 5

警告論文 全国の薬剤師、政治家に与へて売薬法の改正を促す(産 6)

児制限実行の近道) 8

秋沢 定吉 9

9

12

同志に檄す

認識不足産制反対論者への抗弁

妻には替へられぬと涙で自白した強盗(『東京朝日新聞』より)

性改革国際会議に於ける性問題と産児制限(対議録抄訳)

マグヌス・ヒルシウフェトル、編輯部編訳

悪魔の脅威(『画と文』)

軽燥なる反対論者に——自称マルキスト批難に答へる

足達 三郎 25

実行期に入った産児制限——悲惨な細民の生活の為に救世軍研究に

着手(『都新聞』より)

性に関する迷信 26

昨年山口県下を騒がせたかうり詰死体事件 27

落葉籠(七) 受胎の秘方薬 28

赤い舌 産児制限運動雑聞 29

地方の反響(『各紙より転載』) 30

金沢市社会課に持込む悩まし避妊相談／地方の産児制限案 31

で先進都市の状況調査／産調実施に熱心な無産市議 32

月経閉止後の波紋 33

納めの大阪市会で滑稽と厳肅の問答(『大阪朝日新聞』より) 34

紹介批評 BCの教典「避妊の研究」を読む 35

卵巣放射後の欠落症状に就て 36

産児制限で博士に——愛知医大の今村嘉九三氏(『大阪毎日新聞』 37

より) 38

洗滌は絶対的の避妊方法ではない マーガレット・サンガー 39

40

41

42

43

44

45

46

47

新避妊器の發明発表——子宮矯正器の效果と私の墮胎防止論

島野 亨 48～50

妊調実話 喜びを求むる人々(四)

農村に於ける産児調節の急要

倉持善三郎 54～56

産児調節の実際論

マリー・ストープス、編輯部訳

57～59

汽車の中で知らぬ人に可愛い我児を遣つた話(＊『東京朝日新聞』より)

59

産児制限に対する輿論(四)

精神病者に対する断種手術の実施(＊『救国会々報』より)

杉田 直樹 60～62

優生学上忘れられた問題——産児制限の一考察

志賀 潔 62～64

多産地獄——恵まれ過ぎた子宝のなやみ(＊『大阪朝日新聞』より)

64～65

五年おきに一児が理想——一向に顧みられぬ細民階級の苦しみ

66～67

まづ開くべきは三つの誤解の扉——二千の非痛な訴を手に「救ひ主」安部さんの歎き

67～68

多産防止の意義——東京市の施設を喜ぶ

青柿善一郎 69

産児制限(＊『大阪朝日新聞』より)

69～70

ピン送入は医師法違反になるか

警視庁某警視 71

衛生問答

答・向井 又吉 72

本会記事

第三卷第三号 一九三〇(昭和五)年三月七日

産児調節は天理にそむくか(＊『山本宣治全集』第六卷より)

山本 宣治 1

現代人の痛切なる要求

倉持善三郎 2～3

一小学校教師の言——人事ではない

大川 浩 7

全読者諸君に訴ふ!!

特輯記事

戦闘的唯物論者の山本宣治

革命家情熱を具えた科学者

山宣の想出

山宣の死と一匹の寄生虫の死

産調運動の先駆者山本宣治

花やしきの宣ちゃん

山本宣治先生と初対面が最後

山本宣治年譜

真の科学者山宣

悪露に就いて知らして下さい

和蘭に於ける産児制限運動

避妊器としての子宮異常位置矯正器

産児制限運動と医師の責任

産児制限の是非——量より質の時代

産児調節の実際論(一)

産児調節講座 誰にも分る避妊の医学(一)(＊『婦人世界』より)

山本 宣治 1

倉持善三郎 2～3

大川 浩 7

安田徳太郎 5～6

大山 郁夫 8

町田 良秋 9～15

高倉 輝 16

足達 三郎 17～20

緑 夢 21～24

秋沢 定吉 25～26

河上 肇 27～28

一 読 者 41

安部 磯雄 29～31

島野 亨 31

小川隆四郎 32～37

瀬川 昌世 38～41

マリー・ストープス、編輯部訳 42～45

産児調節講座に就いて	野尻 与願	46	50
落ば籠 精子、卵子の力	編輯 部	50	
月経初潮表	成田 晴彦	51	55
衛生問答	答・向井又吉／北井幾八	56	57
法律問答	答・森 岩太郎	58	59
性交と音声	ハブエロツク・エリス	59	
無産階級側から見たる「産児調節論」の批判と実行策	渡辺 一郎	60	63
不自然ならざる産児制限	小川隆四郎	64	65
本誌を継承するに当り	倉持善三郎	66	
編輯後記		66	

第三巻第四号 一九三〇（昭和五）年四月三日

産児制限の実行時代来る	大川 浩	1	
和蘭に於ける産児制限運動	安部 磯雄	2	4
新旧のマルサス主義／性欲抑制の障碍／自瀆初行者員数		4	
節慾に依る産児調節に就いて——かゝる方法が出来るか 又良い方法であるか？	マーガレット・サンガー、大川浩訳	5	12
英国上院に於けるバックマスター侯の演説	（*バックマスター）、小川隆四郎訳	13	17
日本産児制限協会の優生児相談所開始／想像妊娠と墮胎／男女思ひ通りの子供を生む方法の科学的研究	本誌資料係	17	47
五十以後の子持	倉持善三郎	18	19

B・Cの必要と墮胎に就いて

XYZ生 20

特別読物 産児調節の実際の座談会

野尻与願／大川浩／倉持善三郎／向井又吉／小川隆四郎／秋沢定吉／小牧末子／足達三郎／井沢三樹

結婚と悪質の遺伝 皆川 美彦 28

産児調節講座 誰にも分る避妊の医学（*『婦人世界』より） 野尻 与願 33

普及会ニュース 読者の声 足達 三郎 36

単で確実な避妊法 落ば籠 精子、卵子の力（二） 成田 晴彦 42

プロレタリアと産児調節——そのおぼえがき 井沢 三樹 48

ロシア青年の性道德 ムスチスラウ、ヴァイアティツチ、三田馬太郎訳 50

無産階級側から見たる「産児調節論」の批判と実行策 渡辺 一郎 53

新マルサス主義のブルジョア性（*『山本宣治全集』第七巻より） 子宝 緑 夢 59

編集室から 大川 生 65

第三巻第五号 一九三〇（昭和五）年五月三日

社説	1
フランスに於ける産児制限運動	安部 磯雄 2
社告 産児制限に関する講演会	産児制限評論社事務局 7

如何なる場合婦人は出産を避くべきか

マーガレット・サンガー、大川浩

8

我が国に於ての産調論

早坂 二郎

12

避妊と貞操問題

XYZ 生

14

解り易き産児調節の実際

F S R

22

結核と妊娠（*『臨床医学』より）

岡 寿郎

28

産児調節講座 薬物的避妊方法

秋沢 定吉

29

産児制限運動ニュース

秋沢 定吉

29

読者の声

34

代理部を利用して下さい

成田 晴彦

35

落ば籠 男女児出生考(一)

成田 晴彦

36

人工の空気は自然の空気以上

井沢 三樹

41

サヴェート・ロシアに於ける売淫について

井沢 三樹

41

無産階級側から見たる「産児調節論」の批判と実行策(三)

渡辺 一郎

43

随筆 屋根裏のBC

水村 江三

48

一円クラブ

大川 浩

50

地底にうめく声

菊池 清介

51

結婚難の時代

安岡 雄三

60

編集室から

安岡 雄三

61

第三巻第六号〈三週年記念号〉 一九三〇（昭和五）年六月三日

巻頭言 三週年記念に倍加運動を起せ！

安部 磯雄

2

生活問題の立場からの産児制限

安部 磯雄

7

黒婢売却広告（欧米百家随筆より）

馬島 憊

8

非科学的な産児制限反対論者に

奥 むめお

10

サンガー女史と婦人運動の立場

野尻 与願

12

乳児保護に就て(一)——私生児問題の解決策

野尻 与願

15

一分間に一人づゝ人口が殖える

野尻 与願

15

女性の性感欠如と夫婦の心得（*「真面目な性生活と真面目な性の道」第八・九章より）

エッチ・ダブリュー・ロング

16

肺病患者の妊娠中絶と避妊

長谷川茂治

22

産児調節講座 薬物的避妊方法（前号続き）

秋沢 定吉

24

産児制限運動ニュース

秋沢 定吉

24

愛児女性協会産児制限相談所成績

秋沢 定吉

29

愛児女性協会産児制限相談所

柳 広哲

30

月経に関する色々の調査

柳 広哲

34

レントゲン線に依る避妊法

向井 又吉

36

落籠籠 男女児出生考(二)

成田 晴彦

44

家庭で容易に出来る洗滌薬の作り方「産児制限評論」研究部

成田 晴彦

48

産児調節相談所めぐり（予告）

本誌記者

49

成田晴彦氏歓迎会記

成田 晴彦

50

先輩同志と相会して

成田 晴彦

51

禁慾の利害について

マリー・ストープス、井沢三樹

52

読者の声

マリー・ストープス、井沢三樹

56

解り易き産児調節の実際に避妊器具としての黄金ピン

F・S・R

57

素人の避妊ピンの挿入方法

野尻 与願

60

黄金避妊ピンの特価提供に就て

産児制限評論社研究部

62

随筆 片輪者の家 石原 亮 64～67

「二円クラブ」会員募集 編輯室から 68

第三卷第七号〈産児調節大衆化号〉 一九三〇（昭和五）年七月三日

巻頭言 反对者に乞ふ 倉持善三郎 1

産児制限と宗教 安部 磯雄 2～4

日本に於ける産児制限 神近 市子 4～5

フェミニズムと産児制限 緑 夢 5～8

果して墓穴を掘る者か 中根あきの 8

産児保護に就て（二）——私生児問題の解決策 野尻 与願 9～12

人間の身丈／地球上人民の飲水量（欧米百家随筆より） 12

避妊法は確実に効果があるか？ マーガレット・サンガー・大川浩訳 13～16

斯界の大家野尻与願先生創製婦人腔内挿入座薬ホープ／黄金避妊ピ 産児制限評論社代理部 17

ン（広告） 産児制限評論社代理部 17

新婚の夫婦達に ウイリアム・ゼー・ロビンソン 18～23

一夫多妻考 山本 琴子 24～27

落ば籠 男女児出生考（三） 成田 晴彦 28～31

笑話 31

産児調節実行に就いての注意 一 記者 32～34

海綿の避妊法 本誌研究部 34

ダッチ・ペッサリーの避妊的效果と使用法 馬島 憊 35～37

解り易き産児調節の実際（三） ダッチ・キャップに就いて 37

F・S・R 38～41

手軽るに素人向きの避妊具ダッチ・ペッサリー（一名コントラ）特 別提供——馬島憊氏指導製作（広告）

女の一生 産児制限評論社研究部 42～43

挿入薬に依つて目的を達す 市川ひで子 44～46

又光線の一時的避妊は生れて来る子供に影響はないか？ 向井 又吉 46～47

産児調節誌上相談（*社告） 48～49

衛生問答 答・向井 49

産児制限運動ニュース 50～52

静岡県支社開設 産児制限評論社 52

創作 灰色の憂鬱 松原 一夫 53～58

「産児制限評論」既刊目次表 60～61

編輯室から 62

第三卷第八号〈避妊の常識号〉 一九三〇（昭和五）年八月三日

巻頭言 産児調節の提唱 安岡 雄三 1

性教育と産児制限 安部 磯雄 2～4

幸福なる結婚——夫婦達のために 31

母性の立場からの産児制限 ウイリアム・ゼー・ロビンソン 5～9

産児保護に就て（三）——私生児問題の解決策 野尻 与願 9～10

九月特別号予告 編輯室 11～17

17

BC同志会準備会生る
 農村と産児制限
 日本に於ける産児制限秘話——先駆者としての加治時次郎氏

BC同志会準備会
 松原 一夫 18〜19
 額田豊補『肺病全治への早道』
 西川義方・

落ば籠(12) 人工流産の話(三)
 埋草(＊川柳)
 月経と妊娠の関係
 懸賞募集

岡野辰之介 20〜23
 成田 晴彦 24〜29
 F S R 30〜31
 本誌編集部 31
 馬島 佃 33〜35
 F・S・R 38〜40
 一 記者 41〜43
 ラジウムの避妊的效果——X光線との相違に就いて
 素人に出来る避妊薬の作り方
 避妊法としての安全期間について
 避妊の知識について マリー・ストロプス、大川浩訳 49〜53
 創作 お母さんに差上りたい手紙——ネオ・レストリクシヨン
 水村 江三 56〜59
 「産児制限評論」既刊目次表
 本社主催馬島佃氏送別会記
 産児制限国際会議日本代表として出発するにあたり全日本の同志
 へ告ぐ
 馬島 佃 62

ダッチ・ペッサリーの避妊的效果と使用法
 解り易き産児調節の実際(四) 薬物に依る避妊に就いて(上)

巻頭言 医師諸君に乞ふ
 性教育と産児制限(二)
 妊娠の過程(上)——妊娠の各月の変化
 M・C・ストロプス、大川浩訳 6〜9
 野尻 与願 10〜13
 倉持善三郎 14〜16
 ウイリアム・ジエー・ロビンソン 17〜20
 編輯部 20
 成田 晴彦 21〜26
 素人向きの避妊法七種
 素人向きの避妊法による避妊法
 本誌研究部記者 27
 野尻 与願 28〜32
 井上 末彦 33
 尾崎 豊子 34〜36
 一 記者 38〜40
 淡海性人 41〜47

洗滌法について——避妊の為の洗滌法は確実か？そしてどんな方法が一番よいか
 素人に出来る避妊薬の作り方
 避妊法としての安全期間について
 避妊の知識について マリー・ストロプス、大川浩訳 49〜53
 創作 お母さんに差上りたい手紙——ネオ・レストリクシヨン
 水村 江三 56〜59

乳児保護に就て(四)——私生児問題の解決策
 農民はナゼ貧乏する乎
 青年期の禁慾について
 十月特別号予告
 落ば籠(13) 人工流産の話(四)
 素人向きの避妊法七種
 素人向きの避妊法による避妊法
 本誌研究部記者 27
 野尻 与願 28〜32
 井上 末彦 33
 尾崎 豊子 34〜36
 一 記者 38〜40
 淡海性人 41〜47

「海綿に依る法」——手軽で安価な素人向き
 「コンドム」を語る
 世界的発明完成！避妊器具「セコール」に就いて

一九三〇(昭和五)年九月三日
 倉持 1
 安部 磯雄 2〜5

「海綿に依る法」——手軽で安価な素人向き
 「コンドム」を語る
 世界的発明完成！避妊器具「セコール」に就いて

1930(昭和五)年九月三日
 倉持 1
 安部 磯雄 2〜5

「海綿に依る法」——手軽で安価な素人向き
 「コンドム」を語る
 世界的発明完成！避妊器具「セコール」に就いて

1930(昭和五)年九月三日
 倉持 1
 安部 磯雄 2〜5

凡て避妊は使用法を注意せよ——セコールの使用法と注意

野尻 与頭 42～45

第三巻第一二号〈産児制限の社会化号〉

一九三〇（昭和五）年二月三日

代議士諸君の産児制限に対する賛否（産児制限評論社編）

巻頭言 B・Cの一九三〇年を送る！

大川 浩 1

労働問題解決策としての産児制限について

安部 磯雄 2～4

産制を医学者の手へ

飯田 三美 4～7

医者は須らく社会人たれ！——産児制限に対する医師の観点について

西 謙一郎 7～9

手数の掛らぬ避妊法——避妊黄金ピンに限る（本社研究部推奨）

産児制限評論社代理部 9

女性と産児調節(一)

マーガレット・サンガー、井沢三樹訳 10～12

BC雑談

淡海性人 13～14

B・C歳末漫談

緑 夢 14～17

医師と素人側から見たコンドームに依る避妊法

大川 浩 18～22

外国では避妊法として何が使用されてゐるか

古瀬 長栄 23～25

明日の農村と産児制限に就いて

三原 昇遙 25～27

農村の疲弊する二大原因(一)

秋沢 定吉 27～30

女性生殖器の知識と生理

ウイリアム・ロビンソン 31～35

安全！確実！無害！理想的避妊器具「セコール」の特別提供

産児制限評論社研究部 36～37

「セコール」は何故避妊効果があるか——その特長と使用法

F・S・R 38～40

新年特別号予告

40

中谷貞頼／東郷実／遠藤千元／小久江美代吉／飯村五郎／高見之通／平川松太郎／服部英明／末松偕一郎／清水徳太郎／真鍋儀十

／山崎猛／守屋栄夫／岡野竜一／高瀬梅吉／戸井嘉作／古島宮次

郎／一瀬一二／林七六／西脇晋／加藤鏝五郎／兼田秀雄／山榊儀

重／青木亮貫／寺田市正／小俣政一／武内作平／榭谷寅吉／石崎

敏行／深沢豊太郎／辻本豊三郎／植原悦二郎／田中養達／山本厚

三／立川太郎／池田敬八／牧野賤男／佐々木芳照／林平馬／渡辺

素邦／喜多孝治／紫安新九郎／清家吉次郎／宮沢裕／松井邦治／

大崎清作／戸部良裕／小池仁郎／服部教一／清瀬規矩雄／長野総

良／星島二郎／長尾半平／藤田若水／小西和／片山哲／則元由庸

／鈴木梅四郎／片野重脩／岡田春夫／荒川五郎／篠田有徳／高山

長幸 46～53

落ば籠(10) 受胎の秘法薬(三) 成田 晴彦 54～57

特別読物 新聞広告に釣られてA記者と婦人記者の変装探訪 A 記者 58～62

産児制限評論社支社 社内風景 岩崎／校了の日給仕／大川 64 63

改題『産児調節』（産児制限評論社、産児調節評論社発行）

第四巻第五号 一九三一（昭和六）年六月一日

「産児調節」展覧会開催に就いて	産児制限評論社	前付 4	晴彦性談 女を語る(3)——私の心	名古屋長蔵	40
巻頭言 「産児調節婦人聯盟」創立準備会	平野 馨	(1)	最も具体的な避妊の実際書——野尻与頭『避妊の話』	成田 晴彦	43
産児制限の優生学的見解	安部 磯雄	2	産児調節展覧会開催の趣意	平野 馨	48
産児制限の根本的理論に就て——産児調節に関する問題二・三	小池 四郎	6	避妊器具としてのダッチ・ペッサリー	馬島 憊	50
「日本産児調節聯盟」理事会	本誌記者	13	特別研究 卵子と精子の話——受精についての各方面の研究	中尾 音吉	53
我国最近のB・C運動——「産児制限婦人聯盟」準備会の経過	本誌婦人記者	14	特別読物 愛とさゝやきの哲学	碧易 四郎	60
ストーブス女史曲線の結婚に於ける意図(第一回)	高山 敏夫	16	全国産児制限相談所めぐり(第二回)	きの女史は語る	64
ラツキー・スキンについて	記者	21	細民階級相手で地味な婦人セツルメント相談所——主任・中根あきの女史は語る	恐るべき「月やく」下しを撲滅せよ——斯くして彼女はドン底に	66
産児調節の知識と実行に就て——避妊実行者の不注意で意外の失敗	杉山 伸	22	産児制限界に新しい発見——「フラバ」の薬物的効果	本誌記者	67
体験から得た科学的なる妊娠暦——コンドーム礼賛と妊娠暦に就いて	石川 愚庵	26	編輯後記	平野／岩崎素子／大川浩	69
避妊の研究所々員募集	小野 政雄	34	第四巻第六号 一九三一（昭和六）年七月一日		
ラミートの避妊に対する薬物的効果——真面目に考ふべき産児調節	39		巻頭言 我国産児調節運動と展覧会の意義	平野 馨	1
新発見の遺伝的避妊法	39		産児調節問題の社会的根拠	瀬川 昌世	2
避妊の実際法 簡単なる薬物的避妊の方法に就て	39		B・C・スナツプ	日本に於て産児調節は必要か？——その断片的考察	5
			何たる矛盾ぞや——疑は無法無理解な文部当局に依つて晴れた	末広 重雄	6

秋沢明世士 7～13
 農村に産児調節村建設（高知県）——産児制限運動の困難

福永久寿衛 14～17

産児制限婦人聯盟準備会改め無産者産児制限同盟創立——プロレタリア解放の手段を目標に具体的活動に入つた同盟の方向は

本誌婦人記者 18～22

晴彦性談 女を語る(4)——つきやく 成田 晴彦 23～27

東京市を中心として産児制限業者の鳥瞰 本社調査部 28～30

産児調節問題の根本的解決策 輸精管結紮に依る絶対的避妊法について 体験者玉生虎雄氏と語る 玉生虎雄／平野 31～34

産児制限の全集現る！——展覧会記念号として八月号特輯 M T U 35～38

生物学的若返り法——臓器薬について 大川 浩 39

民間避妊法の考察 第二回 中尾 音吉 40～47

特殊研究 遺伝の話——優生学とは何か BC運動ニュース 妊娠調節の手引き 明るい健康な生活へ（その一） 岩崎 敏 48～58

京都の産児調節運動 川端 道一 59～60

若き姉妹へ贈る 古瀬 長栄 60～62

産児制限評論パンフレット発行計画 産児制限評論社事業部 62

全国産児制限相談所めぐり(第三回) 愛児女性協会相談所を覗く／南山荘通経葉屋 本誌記者 63～65

日本産児調節運動の国際的進出——本社主催・産児調節展覧会愈々開催 産児調節評論社 66～67

第五卷三月号 一九三二(昭和七)年三月一日

結婚せる男女へ 花柳界の女達は何故妊娠しないか！——避妊と洗滌 本社研究部 3

避妊剤としてのココアバタの効用 日本最古の墮挿入薬「貴女の友」 本社研究部 4

産児制限と通経薬に就いて 書籍紹介 マリー・ストープス、馬島憫訳『避妊の葉』／『避妊の研究』 馬島 憫他 6

小川隆四郎氏の判決——執行猶予／総選挙に出馬したBC人 編輯後記 8

第五卷九月号 一九三二(昭和七)年九月三日 「避妊」の方法に就て(三)——「避妊の研究」「避妊の葉」を中心にして 2～3

墮胎法改正期成聯盟の成立 情死事件に鑑みて墮胎法改正期成聯盟の成立を喜ぶ 宮城乾之助 4～5

墮胎法改正期成聯盟の活動 本社記者 5～6

墮胎法改正期成聯盟 某氏 6

避妊と洗滌 本社研究部 10

現代日本の救世主!! 権藤成卿先生に就て 平野 馨 12

第六卷第二号 一九三三(昭和八)年二月一五日

我々は斯る立場から叫ぶ——「産児調節」は無産階級のもの

産児制限評論社 1

ソヴェートに於ける産児制限(一) (『バス・コントロール・レビュー』か

ら) H・M・ストーン 2

精系結紮とガスニー氏 安部 磯雄 2

近世墮胎考(一) 本庄道太郎 3

「幸福なる結婚生活」に対する批判

本庄道太郎／足達生／大川浩／河合生／馬島側／安部磯雄 3・6

若干の避妊知識 ロビンソン 4

本社の躍進紙面拡張——読者一万人を突破 産児制限評論社

無害で費用のいらぬ乳酸避妊法 大川 浩 5

避妊方法の新知識これだけ知れば大丈夫——野尻与願著『大衆的最

新避妊法』 5

本社推奨書籍 5

「月やく」業者の跋扈——悪らつ！合法の法網をくぐり民衆を欺瞞

し当局も瞞着す近く当局の手入れか 6

「正しい性生活」発禁——改訂版が出る 6

結婚の神秘を探る——「幸福なる結婚生活」から O・Mバツタフィールド 7

『幸福なる結婚生活』の限定出版発行！ 8

第六卷第四号 一九三三(昭和八)年五月三日

巻頭言 性教育の必要と産児制限 産児制限評論社 (1)

社会問題としての産児制限 安部 磯雄 2

「幸福なる結婚生活」に対する批評

本庄道太郎／野尻与願／賀川信義／河合生 6

安部さんは語る (＊安部磯雄) 6

美しい誕生——出産後、彼女の美しさを増し、彼女の健康を保持す

るにはこの絶へざる心掛けが必要なのである マリー・ストープス 7

婦人及び産児制限の問題——婦人の立場から二三 金子しげり 12

狂態の社会 堺 真柄 15

支社募集——支社設立の規定 17

日本産児制限運動考——隠れたる運動家斎藤乙吉先生について 武井 正衛 18

海外BCニュース 21

生殖作用の学理的説明——神秘的な男と女のからだの話 本庄 道郎 22

現代世相に現れた墮胎罪の考察 徳田 宗雄 26

BC漫談物語 谷 厚美 30

妊娠を早期に知る方法——生物学的診断法の研究 賀川 信義 36

避妊に成功する秘訣——面倒臭がつてはならぬ X Y Z 42

45

一日三百人づゝ人口増加——産めよ殖えよ大東京 45

タンポンやつめ紙で避妊が出来るか——シルク・スポンヂを語る

大川 浩 46～48

処女生殖の話——女ばかりで子が産めるか 岩崎 素子 49～51

新刊紹介

石川千代松・識戸正満『生物の性愛と貞操』／井上寛『早婚と自

由産児』／秋沢定吉『実験産児制限法』 51

若返り法による避妊法——医学的絶対的避妊法 野尻 与頭 52～54

手術による避妊は無害であるか 岡田 精一 55～57

映画紹介

「オー・エフ氏のトランク」(独乙トビス映画特作)／「血の敵」

(三映社提供) 58～59

編輯だより 60

第六巻第六号 一九三三(昭和八)年七月一〇日

巻頭言 足並をそろへて 産児制限評論社 (1)

産児調節時代相——大正八年を中心として 村上 雄策 2～5

アメリカ産児調節聯盟の一覽 菊地 敬二 6～8

母子保護と産児制限——ソ聯のク女史との対論から

奥 むめお 9～11

絶対に避妊を望まれる方に

如何して墮胎と成るか 秋沢 定吉 12～14

バッテリーフィルドの『幸福なる結婚生活』(＊読者批評)

奉天の社会事業施設同善堂 金子しげり 15～18

新刊紹介

ヴァンデ・ヴェルデ、植次郎訳『夫婦に於ける受胎』／浜田謙一

『絶対避妊法』 18

産児調節は婦人自身の問題 加藤 梅子 19～21

避妊薬の作り方と使ひ方 O M・バッテリー 22～25

天下御免の風俗奇習 淡海性人 27～30

いよ／＼値下げ断行 30

新婚夫婦の避妊法——始めて結婚せんとする男女へ

望まない妊娠は墮胎出来るか 小林 填 31～33

正しいキャップの使い方——子宮帽とはどんなものか H Y Z 35～37

男女生殖器の生理解剖——避妊を望む方の是非知らねばならぬ 井上 常之 38～40

成功・失敗及びその注意——避妊の実行に当つて 本庄 道郎 41～45

読者へのお願ひ 産児制限評論社研究部 46～49

BC運動ニュース 50～51

漫談 出来不出来 福原 雨六 52～54

避妊は効果確実である——然しそれにはこの用意 岩崎 敏 55～56

映画紹介 「銀嶺征服」(独逸トビス映画超特作)

「幸福なる結婚生活」発売禁止さる

(＊編輯後記) 60

60

第六卷第七号 一九三三(昭和八)年八月三日

〈本号特輯〉 働いてゐるおつかさん達への手紙

マリー・ストープス、産児制限評論社編輯部訳 1〜36

この訳文を出版するわけ 産児制限評論社 扉

編輯室より 裏表紙裏

大衆的避妊器具シルク・スポンヂの正しい使用ひ方について

産児制限評論社研究部 折込み広告

第六卷第八号〈結婚と優生・遺伝の特輯号〉

一九三三(昭和八)年一〇月三日

カッタ 矢部 友衛 表紙・1

功劳と権威と(＊写真) 高田義一郎 1

巻頭エッセイ 大隈侯と産児調節 加用 信憲 2〜5

優生学的結婚統制はどうすればよいか 諸岡 存 6〜9

「結婚解消」と愛情の科学——精神衛生と在来結婚観念の清算 小倉清太郎 10〜14

人工的に可能な優種児の妊娠 石川 光昭 15〜19

民族優化和産児調節(一) 名古屋長蔵 20〜22

産児制限の認定領域(一) 杉山 仲 23〜24

近親結婚の善い場合と悪い場合 古川 竹二 25〜30

血液型と結婚の問題 長尾 美知 31〜33

結婚には血液型を斯く応用すべし

遺伝エンサイクロペディア 遺伝するものと遺伝しないもの(本誌

研究部撰)

永井潜／橋覚勝／木村哲二／遠山郁三／岡治道／児玉昌／三宅驥

日本人に遺伝する畸形病の表 34〜38

結婚と優生学 新居 格 40〜43

創見 最も進んだ妊娠調節——組織膜移植 松尾 宝作 44〜48

産児調節時代相(二)(承前)——華々しい論争の絶頂へ 村上 雄策 49〜53

近代生活の性障碍とその根源療法 玉生 辰雄 54〜55

ソヴェトの「結婚生活」と「産児調節」(一) 大竹 博吉 56〜57

滅びゆく優質のものと栄へゆく悪質のもの——全人間の素質は濫り

なる結婚により今低下しゝある 平山 信子 58〜63

石本静枝夫人を迎へて 平塚 雷鳥 64

帰朝された石本静枝夫人(アメリカ近影) 石本 静枝 66〜71

故国に帰り想ふこと——転向期に立つ産調運動 田中 孝子 72〜74

現代の若き男女の結婚観 阿部 静枝 75〜77

正しい産児制限普及の道へ

内外ニュース

処女血清鑑定法

囚人にも性の自由を——国民政府の新計画 池見 猛 30

混血は智能は上るが体質が下がる 池見 猛 30

日本人とカナダインディアンの祖先同一説は誤謬——古畑博士の研

究 青木 38

胎教(一)

青木 38

青木 38

喇叭管締結避妊法	保坂 孝雄	48
ロンドンに於ける失業者と産児制限		53
社会不適者を絶滅 国家権力を以つて強行——但し「ナチス」の話		63
日本女性多産の原因——挙げられる原因四つ	鈴木 甚吉	71
分娩と結核との関係 二十歳以下のお産は危険——米国の統計的新研究		77
産児調節運動へ拍車をかけて！	北田 一郎	78
評伝		
メンデルと遺伝学	小酒井	5
進化学とダーウィン	石川	22
ガルトンと優生学（*『産児調節評論』より）	駒井	79
創作 彼女等の十五年	葵 イツ子	80
映画紹介 「黒衣の処女」（独逸トビス映画社超特作）		86
秋の良書推薦		87
平塚氏の『雲・草・人』をよむ	神近 市子	88
神近市子氏著『性問題の批判解決』編者の言葉として		
最近のB・Cの専門雑誌とパンフレット考	中野 近恵	89
私達のページ	川端 道一	90
本誌より読者への要望	足達生／戸田生	91
誌上病院設立に就いて		92
編輯だより	足達生／いさむ	93

第14巻・総目次

『小家族』（日本産児調節研究会発行）

第一号 一九二二（大正一一）年五月一三日

産児制限に就き受取つた手紙	安部 磯雄	1
小家族制の主張	布川 静淵	2・1
予の産児調節意見	加治時次郎	3
本誌刊行に就て		3
我人口と食料の調節	石本 恵吉	4
婦人解放と産児調節	石本 静枝	5
産児調節の視界	加藤 勘十	6
産児調節研究会設立趣意書／会則		7
編輯者より／投稿規定		8

『プロBC（B・C）ニュース』

（無産者産児制限同盟、プロBC同盟発行）

第二号 一九三一（昭和六）年六月二二日

創立大会は盛大に終わった——陣営を確立して積極的な活動を開始す	(1)
本同盟事務所はこゝだ プロBC相談所も同一場所だ！	(1)
プロの産児制限展覧会をやるぞ——積極的に応援して呉れ！	(1)
組織拡大に全員総動員だ	(1)
第三回中央委員会（*通知）／お願ひ！	(1)
号外 い 一九三一（昭和六）年六月二四日	(1)

ブルジョア運動家ふるいあがる吾等の相談所開設——ドン／＼利用せよ！

断然圧倒的！此の供給値段を見ろ！
産児制限運動技術者養成
見ろ！プロの産児制限展覧会

(1) (1) (1) (1)

第五号 〔一九三二（昭和六）年〕

報告 講演／芝居の代りに漫談／BC対話／座談会

(1)

プロBC旗の目覚しき前進！——座談会及び講演会の全国的出張／
地方同志への依頼

(1)

プロBC展第二回予告！

(1)

財政部から

(1)

技術部から

(1)

第六号 〔BC展覧会号〕 一九三二（昭和六）年一〇月一日

産児制限展覧会に参加しろ！——組織的計画だ

労働者券を活用して下さい！／会場を探して呉れ！／展覧会参加の

ために支部会・職場懇談会・座談会を開け！

(1)

プロレタリアの味方として性の自由を要求したアウグスト・フォレ

ル死す！

(1)

第七号 一九三二（昭和六）年一〇月一六日

展覧会が定つた——プロレタリア産児制限展覧会十月23日24日25日

支部は各地に出来る！——北豊島支部確立

プロ文化聯盟準備会に加入す

日本労農救援会組織準備会に出席す！

(1) (1) (1) (1)

支部からの出張相談は五人以上の場合と定めた！
中央委員会の定期廃止！
頼む！滞納会費を納入して呉れ！

(1) (1) (1)

第一一号 一九三二（昭和七）年四月二〇日

プロBCの全国的組織確立の為に斗へ！——組織の基礎は先づ班か
ら

1

予告——プロBCニュース「大衆版」発行！！

1

プロレタリア文化聯盟弾圧！！——各加盟団体共同抗議に参加せよ！！

プロBCから同志山本検束さる

同盟費ヲ納メヨ

BC相談所を各地区に作れ！

地方支部は至急報告を送れ！

書記局から

2 2 2 2 2 2

『産児制限運動』（無産者産児制限同盟発行）

第一号 一九三一（昭和六）年九月一九日

宣言（無産者産児制限同盟創立大会）

秋田 雨雀 3 5

ソヴェート同盟における産児制限その他に就て

神近 市子 6 7

プロレタリア解放に於ける産児制限

パンフレットが出る

パンフレットが出る

7

プロBCとブルジョア産児制限は本質的に異なる——石本夫人の論説

に駁す

岩崎 素子 8 12

産婆の立場から産児制限を論ず

小林 美代 12 13

プロBC相談所を利用せよ！

13

綱領／規約

14 15

プロBC活動報告

今日迄の組織活動（同盟・組織部）／技術部報告（同盟・技術部）

15 16

第二号 一九三一（昭和六）年十二月一日

*表紙には『プロレタリア産児制限運動』とあり。

所謂満洲事件と産児制限

表紙

日本プロレタリア文化聯盟結成とプロB・Cの任ムについて

1 2

ドイツに於けるB・C闘争

山本 琴子 3 4

避妊の急所はこゝ

中根あきの 4 6

ソヴェート・ロシアの婦人労働者

6 7

職場通信 新婚の一労働者より／相互支持のために

6 13

小供についての感想

徳永 直

7 8

デマを蹴って

島田 盛雄

9 10

投書 労働者の避妊法

下山 計雄

11 12

ム産者産院を作るぞ！皆んな参加しろ！

12 13

支部はこうして作れ

13

第二回テンラン会の成績

14

プロBCパンフレット直ちに申込み！

14

推薦雑誌・新聞

14

プロBC相談所案

14

編輯後記

14

『プロBCニュース大衆版』（無産者産児制限同盟発行）

『産児調節ニュース』（日本産児調節婦人同盟本部発行）

第四号〈大衆産児制限〉 一九三三（昭和八）年七月一五日

第一号 一九三四（昭和九）年五月五日

新しい活動に就いて	プロBC常任委員会	1	ニュース発行の挨拶	日本産児調節婦人同盟	1
編輯部から		1	関西支部		1
海綿はどんなにして使ふかその効果はどれだけあるか		1	安全週期説覆さる——全米産調大会で		1
産児制限が自由でもソヴェート同盟では人口が増加		2	アジアに於ける産調大会準備会——ロンドンで開かる		1
注射一本で男女児が思ふまゝに妊娠出来る		2	全女性の幸福のために	阿部 静枝	1
月やく屋訪問記		2	今後の発展を	山室 民子	1
プロBCの避妊法は斯うして獲得する	××地区××班	3	待望の産調相談所生る——石本静枝氏を主任として		2
実話 多産地獄から救はれた八木さん一家の話（××区ニュースよ り）		3	産調相談に現はれた深刻な世相——産調の意義が如何に大きいか		2
どこにもない独特の内容で特輯号を続々と発行するぞ！		4	心強く思ふ	赤松 常子	2
地方からのたより	茨城一農夫／プロBC技術部員	4	青森地方に相談所設置		2
			「産児調節クリニック」とは何か？——クリニック問答		3
			母は叫ぶ		4

『産調ニュース』（日本産児調節連盟総務部発行）

第一報（一九四七（昭和二二）年一〇月）

日本産調連盟結成大会

産調建議は…

九月二十四日…

サンガー夫人…

天野医博は…

馬島委員長は…

神戸の産調運動

十月十一日に役員会開催

(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

『産児制限』（健康世界社発行）

第一巻第一号 一九四七（昭和二二）年一〇月一日

（＊画）

産児の設計

産児調節はいかに人生を幸福にするか

性の調整

あとがき

古沢 岩美 表紙

式場隆三郎 (1)

馬島 憊 (1) 32

マーガレット・サンガー 裏表紙裏

天野 景康 裏表紙裏

第二巻第二号 一九四八（昭和二三）年四月二五日

（＊画）

優生法案に就いて

妊娠調節法の公式と実施法

産児制限と墮胎の限界

受胎と人工流産の注意

母体保護と医学的避妊

避妊器具の種類と批判

誌上クリニック

答・馬島憊／中井卓次郎／杉本清治／磯正盛／中島鎌太郎

新避妊術MH式浸潤法

サンガー夫人伝（第一回）

産制運動展望

古沢 岩美 表紙

馬島 憊 2 3

天野景康／天野文字 4 23

浅田 一 24 25

中井卓次郎 26 30

中島鎌太郎 31 33

磯 正盛 34 42

本庄道太郎 43 48

式場隆三郎 49 56

M・S 裏表紙裏 57 64

『産調時報』（日本産児調節連盟総務部発行）

第一号 一九四八（昭和二三）年一月一日

吾等の主張 馬島 憊 1

産児調節運動の発展のために 安部 磯雄 2

産児調節運動の将来 式場隆三郎 2
3

改良ペツサリーに就て 2

産児調節の急務と婦人の覚醒 天野 文子 3

産児調節（＊詩） なかや・しげる 2
3

優生保護法（抜萃） 3

J・B・C・Lニュース 高田 4

連盟加盟クリニックの現況 4

第二号 一九四九（昭和二四）年一月一日

産調運動の展望 馬島 憊 1

強姦と人工妊娠中絶——優生保護法第十三条第一項第四号について

（＊『日本医事新報』より） 1

産児制限実態調査概要——『人口問題研究』第五卷より 篠崎信男／金子章／小林和正 2

日本の人口 橋本 虎六 2

3

3

3

3

3

3

産調運動の一年 3
お米と赤ん坊 3
産調閑話 3

J・B・C・Lニュース 4

産児調節の方法調査成績 4
"妊娠診断"は百発百中——ヒキガエルから研究に成功（＊『朝日新聞』より） 4

『日本産児計画情報』（日本妊娠調節研究所発行）

*英文欄は巻頭の目次（内容）に沿った。

第一巻第一号 一九五〇（昭和二五）年三月二五日

〈英文欄〉

発刊の辞

挨拶

祝辞

メッセージ

メッセージ

日本人の現状

日本妊娠調節研究所略史

社説 産児調節か墮胎か？

優生保護法（抜萃）

戦後における産制運動の新聞記録（1947—49）

人の声

各政党と人口問題（*Birth Control Number of Seikai-Jeepより抄訳）

〈和文欄〉

挨拶

祝辞

メッセージ

メッセージ

日本の人口と産児計画 パスカル・K・ウェルプトン

「母性相談所」 マリー・C・ストープス

瑞典における墮胎の法制化 エリゼ・オテゼン||エンゼン

アメリカに於ける産制の実情——産児制限から家族計画へ 天野 文子

学術抄録 天野 文子 18~19

受胎調節と開業医（アラシ F. グットマツカー）／座薬及びゼリ

ー剂避妊薬の効力（N. J. イーストマン及R. E. サイベルス）

／プラスチック製腔部帽による避妊（アーネスト・グレーフェル

ンベルグ及ロバート・L・デイキンソン）／人工妊娠中絶の社会

医学的考察（柏原長弘） 20~21

タンプソン博士の『太平洋地域の人口と平和』（*天野景康） 22

J P P Q ニュース 23

J B C I 編集室より 24

産制運動の恐慌時代？（*天野景康）／サンガー夫人訪日拒否さ

る 24

産調図書室 24

第二巻第一—二号 一九五一（昭和二六）年六月二五日

〈英文欄〉

天野氏夫妻の事業に寄す

六十万の墮胎現象（*Report at the 13th Japan Medical Congressより抄訳） 本田 親男 1

東洋婦人の使用する膈隔膜の大きさ 古屋 芳雄 2~3

（*JBCI, Mothers Clinicより）

訳載)

断種並人工妊娠中絶報告 (1950)

天野 文子 4~5
厚生 省 5

日本の将来 (*The Malthusian より)

C. V. ドライステール

6

占領下日本人の避妊薬——発泡錠剤

本誌記者

7~8

何故イスラエルに離婚が多いか (*要約)

8

マリイ・ストープス博士からのメッセージ

(*マリイ・ストープス)

9

社説 媾和条約と日本の過剰人口

10

日本における人口問題の新聞記録 (1950年12月—1951年6月)

抄録

11

人の声

海外よりのニューズと通信

13・17

〈和文欄〉

天野氏夫妻の事業に寄す

本田 親男

18

ネール首相と印度の人口問題

(*天野景康)

18

産児制限の促進と人口問題解決に関する新機関設置に関する請願

19~20

米国加州マリソ郡家族計画協会より寄附行為

20

研究論文、通信を募る

20

J. P. P. Q. ニュース

21

第二巻第三—四号 一九五一(昭和二六)年一月三十一日

〈英文欄〉

“サンプーン”錠剤の避妊効果

那須耐成/H. Nakai/H. Kawakami

25~26

断種、人工妊娠中絶並死産報告 (1951年1—6月)

厚生 省

26

隔膜ペッサ挿入の反転法 (*JBCI, Mothers Clinic より訳載)

天野景康/天野文子

27~29

マーガレット・サンガー女史からのメッセージ

(*マーガレット・サンガー)

29

人口問題の解決策 (与論調査) (*『朝日新聞』より訳載)

日本における避妊器具類

本誌記者

30・40

社説 人口政策として産児調節

日本における人口問題の新聞記録 (1951年6—12月)

海外よりのニューズと通信

32・40

〈和文欄〉

我国人口問題に関して朝野の識者に訴へる

サンガー女史来訪決まる

北岡 寿逸

41~42

イタリアと産児制限 (*『ザ・マルスシアン』より訳載)

イタリヤに於ける共産党 (*『ザ・リスナー』より訳載)

フオード財団に寄附金申請に関して

ジョン・ガンサーの日本人口論 (『マツカーサーの謎』より抜粋)

43 43 44~45 46~47

タンブソン博士の警告!!——『人口圧力と平和』(※『読売新聞』よ
り抜粋)

J・P・P・Q ニュース 48 47

第三巻第一一三号 一九五二(昭和二七)年九月三一日

〈英文欄〉

結婚者の長寿に就て 館 稔 1~2

断種、人工妊娠中絶及死産報告(1951) 厚生省 2

産児調節世論調査(1952) 毎日新聞社 3~4

第1回全印度家族計画会議への天野主幹のメッセージ(※印度PF
A報告書より) (※天野景康) 4

JBCI請願に対するウエルプトン博士の回答書(国際連合)
社説 印度における世界人口と家族計画会議 5

日本における人口問題の新聞記録(1952年1-6月) 7~8

避妊薬の生産と販売額報告(1951-52) 8

日本(※独乙産制連盟公報『新しい家庭』より) 天野 文子 9・26

世界人口と家族計画会議(※「国際人口と家族計画ニュース」より) 10

日本産児調節の重要性(※「ニューヨーク・タイムズ」より) 10

JPPQ写真画報 11~12

天野博士歓迎午餐会記録 ミルドレット・ギルマン 13~14

日本医師曰く“過剰人口は赤化を援く” 14

ファイラデルフィア家族計画協会 14

天野博士米国へ来る/CBS放送ラリー・レッシュニア氏日本の人口
問題を論ず/サンガー夫人の紐育市訪問 15

海外よりのニュースを論ず 16~26

〈和文欄〉

人口問題と移民(※「人口と産業時報」より) 床次 徳二 27~28

受胎調節は人口問題を解決(※「赤十字家庭新聞」より) 29

無経験者は51%——知られていない妊娠調節相談所 天野 景康 29~30

米国視察旅行日誌 天野 景康 31~33

J・P・P・Q ニュース 34

第四巻第一号 一九五三(昭和二八)年三月三〇日

〈英文欄〉

“子宮リング”100例報告 土居 淳 1~2

子宮内妊娠予防法 近藤 肇 3~4

断種人工妊娠中絶報告(1952上半年) 厚生省 4・2

都会生活に於ける高い産調の実行率 篠崎 信男 5

産調“膝栗毛”日記より(※「サンデー毎日」より抄訳) 石垣 純二 6

日本にはソ連のGIベビー無し F.ヒンメルフェルト 7~8

“真に済みません、サンガー夫人さま” X Y Z 8

日本の人口問題解決は? 9

社説 世界平和のための世界的家族計画 10

JPPQ写真ニュース 11

〈和文欄〉

東南アジア諸国を巡つて——第三回世界家族計画会議(印度便り) 13~17

マーガレット・サンガー 13~17

日本における家族計画運動について(毎日新聞社人口問題調査会懸賞論文) 新井 昭一 17〜19

“家族計画”という言葉 新井 昭一 17〜19

印度における受胎調節の問題 (*Approaches to Problems of High Fertility in Agrarian Societiesより抄訳) A B C 19

N・V・ソバニ 19

インドの産調問題と避妊薬を語る——ギャンブル博士を囲んで (J B C I座談会) 20〜23

内藤豊次/天野景康/シ・ジュ・ギャンプル/安井修平/古屋芳雄/水野宏/古沢嘉夫 20〜23

世界家族計画会議に出席した四天王 X Y Z 24〜25

家族計画聯盟準備委員会なる X Y Z 25〜26

避妊法ABC(続き) X Y Z 27

日本人口問題新聞記録(昭和27年9—12月) 28〜29

ペッサリーの効用/避妊錠の悲劇(*漫画) Amano 9・29

J・P・P・Q・ニュース 30

第四巻第二号 一九五三(昭和二八)年六月三〇日

どうして人口が増えるか? 表紙裏

〈英文欄〉

恐るべき反復墮胎の結果(*『サンデー毎日』より訳載) 石垣 純二 31〜32

今日の出生及び産調研究(*『毎日新聞』より要約) 厚生省 33

改正優生保護法(昭和27年4月、抜粋) 厚生省 34〜35

人口動態報告(昭和26—昭和27年) 厚生省 35

人工妊娠中絶及び断種報告(1949—1952) 厚生省 36〜37

社説 欲せざる赤子と欲する赤子 厚生省 38

〈和文欄〉

国際家族計画連盟とは(*英国家族計画協会 Family Planningより訳載) 中田 鈴 39〜40

子供は財産ではない——家族計画はこうして(毎日新聞社人口問題調査会懸賞論文)(*『毎日新聞』(大阪)より) 中田 鈴 40〜41

『アメリカ便り』(*米国家族計画聯盟発行 Planned Parenthoodより訳載) 中田 鈴 42〜43

マーガレット・サンガー夫人より (※マーガレット・サンガー) 43

産児調節の傾向増進す(*英国マルサス連盟発行 The Malthusianより訳載) 44〜45

避妊錠の使用法秘訣 45

日本人口問題新聞記録(昭和28年1月—6月) 46〜49

過剰人口の悲劇——アフリカ・マウマウ結社の反英テロと産児調節 X Y Z 49

J P P Q ニュース 50

第四巻第三—四号 一九五三(昭和二八)年一二月三〇日

無料贈呈!!何方にも新旧入会の方に、受胎調節指導用セット1組

〈英文欄〉

日本産児計画情報満四年を迎う X Y Z 51

人口問題解決についてカトリック僧米国の支持を求む（*『毎日新聞』より訳載） 厚生省 52

断種手術及び人工妊娠中絶報告（昭和28年前期） 厚生省 53

自然死流産及び人工妊娠中絶（*『日本人の性生活』より訳載） 篠崎 信男 54～55

〈和文欄〉

社説 国際家族計画聯盟批准さる 56

避妊技術における人間性要因 グンナー・ニカンデル 57～60

農村における家族構成の実態と家族計画運動の具体策（毎日新聞社） 浜名 志松 60～63

人口問題研究会懸賞論文 『日本人口』と食糧と雇用問題——第2回日本人口問題討論会から 63～64

日本人口問題新聞記録（昭和28年7月—11月） 64～66

旧約聖書に学ぶ移住新建国（*『力行世界』より） 永田 稠 67～68

国際家族計画聯盟目的に関する声明書（暫定的） 68

第4回国際会議盛大 海外ニュース X Y Z 69

第五巻第一号 一九五四（昭和二九）年三月三一日

産児調節の手段としての断種手術（特別寄稿）

ハリー・ジー・グッツマン マーガレット・サンガー 1

“これこそ我が信ずるところ” クリストファ・テイーツエ 2

断種手術と公衆の理解（*The Eugenic Reviewより訳載） 3～6

永久避妊法としての断種手術（*Human Sterilizationより訳載） クレアレンス・ジエ・ギャンブル 7～8

わが国に於ける家族計画運動 Dickinson and Gamble 8～9

日本家族計画連盟設立趣旨書及び規約 下条 康磨 9

日本人口問題新聞記録（昭和28年12月） 10～11

避妊法ABC（続き） X Y Z 12・9

J P P Q ニュース 14

第六巻第四号 一九五五（昭和三〇）年二月三一日

〈英文欄〉 サンガー夫人よりのメッセージ（*サンガー） 表紙裏

ギャンブル博士に本研究所“サンガー杯”授与さる（*写真も） 61

第5回国際家族計画会議画報 77～81

第5回国際家族計画会議決議

扇子

フローレンス・ウエルス

83 82

日本における家族計画運動 (*Contemporary Japanより)

天野 文子

84 ~ 89

人口と戦争 (*Nippon Timesより)

〈和文欄〉

家族計画は世界平和の基礎

マーガレット・サンガー

90 ~ 91

日本人口問題新聞記録 (昭和30年7月~12月)

91 ~ 94

ランバル教授を悼む

94

J P P Q ニュース

95

『研究ニュース』(避妊研究会発行)

第三号 一九五一(昭和二六)年四月

避妊リングの小史

安田徳太郎

1

避妊リングの成績(第五回報告)

太田 典礼

1

沃丁塗布法と太田式避妊——リングによる避妊実施一ケ年

吉田 貢

2 ~ 3

太田式避妊リングの成功まで(二)

太田 典礼

3

太田式避妊リング実施の感想

石原 砒

3 ~ 4

避妊法の再検討を提唱する(抄録)

中島 精

4

断種と妊娠中絶の数字

中島 精

4

リングのあるまま妊娠しリングを引き出して妊娠継続中の例

太田

4

あとがき/避妊研究会会員募集

4

『B・C・ニュース』（パソコン研究会発行）

〈*号数表記なし〉一九五二（昭和二七）年一月

あいさつ	太田 典礼	1
日本の人口問題に対するアメリカの輿論	太田	1
お奨めしたいリング式（『週刊朝日』十一月二十五日号特集「科学トピックス」より）	安田徳太郎	1
避妊リングの成績（第五回報告）	太田 典礼	2
リング使用上の注意	太田	2
リングに対する反対（『週刊朝日』十二月十六日号より）	2	3
避妊リングと子宮癌	近藤 潘一	3
大阪市立阿倍野保健所佐伯医師談（『日本医療衛生新聞』一月五日号「保健所探訪」より）	（*佐 伯）	3
第五回近畿東海連合産婦人科医学会総会演説抄録		
太田典礼／田中雄吉／中野理／藤森速水／池田賢／石原碓／木村嘉一／近藤潘一		4
リング体験者の声（『週刊朝日』十二月廿三日号「読者と編集者欄」より）		4
あとがき——B・C・研究会員募集	山崎	4

『避妊研究ニュース』（日本計画出生協協会発行）

第六号〈避妊法批判〉一九五二（昭和二七）年三月

リング式避妊法論を衝く	X、Y、Z	1	2
リング式避妊法の功罪について	野村 武夫	3	4
ペッサリー法東京都二百名使用状況	高田 哲孝	4	

産制のいろいろ——最適は男精管の結さつ	2				
ヤミ医師大恐慌——改正で対策に苦心	2				
表彰に輝く老花——助産婦会長井野辺ケイさん	2				
西日本産制活潑——本年度三百万円の予算	2				
中絶の手續について	2				
スポンヂに就て(上)	2	杉森	司		
第三号 一九五二(昭和二七)年六月五日					
産婦科専門医を新設——学会が具体化に着手す	1				
リングの問題点——避妊か墮胎か山村女医大教授語る	1				
中絶報告は暫定的に旧様式	1				
協会を公益法人へ——優生協会理事会で決る	1				
5月27日改正保護法実施	1				
井野辺会長再選——改選でわいた助産婦大会	1				
吉田委員長慰労——東指会の例会	1				
産児制限の歴史(3)	1	平沢	俊男		
小説士からみた墮胎——大川氏に聞く「今昔物語」	2				
避妊知識は労働者に低い	2				
子供の日(＊コント)	2				
ハイドラジッドの正体——ビタミンB3が主成分	2				
性生活の相談	2	答・T O生	K生		
産婦学会通牒	2				
徳川時代の優生法——川柳からみたあれこれ	2				
生活の苦しい避妊の大半がこれ	2				
スポンヂに就て(中)					
母性俳壇					
母性歌壇 更年悲哀					
第四号 一九五二(昭和二七)年六月二〇日					
市販できぬ避妊用具——リング・ベン等の取扱要領きまる	1				
奈良産婦医会優生保護法を解明	1				
有資格は一割か——屋上屋を架すと反対	1				
中本氏が理事長	1				
奥さんに公休	1				
文部省が性指導をやる	1				
博士に代る専門医——厚生省は強行のハラ	1				
受胎調節の在り方	1	大川	竜夫		
クマの肝で死ぬ	1				
沃丁避妊法の問題点——一時か永久か	1	永田	義淵		
産児制限の歴史(4)	1	平沢	俊男		
避妊講演会開く——平均二回の中絶 妊娠恐怖症の主婦	2				
避妊知識の低い大阪——来阪の沢せつ子氏語る	2				
廿七人も生む	2				
女学生のアルバイト	2				
増加する妊娠中絶——今年は百万突破か去年は廿四年の三倍	2				
府下の中絶約四万	2				
神戸講演盛況	2				
薬界 進歩する薬の近況②サルファ剤・駆虫剤など	2				

性生活会の相談 答・O 医師 2
 大人の火遊び 2

第五号 一九五二(昭和二七)年七月五日

インドで産制世界大会——日本にも案内状来る
 リング研究会——優生協会で三日開く
 サンガー夫人秋に来訪
 藤沢氏帰国す
 薬局も業務の範囲で——調節実施の要領決る
 講習科目決定す——助産婦卅三時間
 産児制限の歴史(5) 平沢 俊男 1
 避妊か墮脱か問題の論争点 問題は医学的に——太田氏、山村教授に答う 2
 聖母病院焼く 2
 芦屋夫人も産制に関心——仏教会館で避妊講演 2
 全村がタンポン式——宮城県三名生村 2
 進歩する薬の近況③B12・水虫・利尿剤 2
 麻薬に一年半 2
 妊娠歓迎 2
 覚せい剤摘発 2
 リング使用の経験 大川 竜夫 2
 性生活会の相談 答・O 医師 2

第六号 一九五二(昭和二七)年七月二〇日

中絶から避妊の段階へ——産制の普及に乗出す——在阪各婦人団体が準備中
 人口衛生協会設立
 免許申請を簡素化
 北医師会の奉仕
 生活難が原因——経済的理由が80%
 実地指導の認定——講習会は民間で出来る 条件さえあれば個人も可
 来月中には実現か——一向に進まぬ指導講習
 保護法施行規則決る
 産制の半数は中絶——一割は二回以上
 人口対策八月行事
 薬液塗布の経験——西淀病院産婦人科 中山 義雄 1
 届出の形式決る 1
 産児制限の歴史(6) 平沢 俊男 1
 産制講演の余波 芦屋でリング騒動——営業妨害と一部が騒ぐ 2
 助産婦講演会 2
 感謝されるリング——神戸計画産児診療所の例 2
 多胎は外人に多い——2回のお産で20人生む 2
 進歩する薬の近況④ルチン・収縮剤・メチオニン 2
 性生活会の相談 答・O 生 2
 バラバラ二日来阪 2

第七号 一九五二(昭和二七)年八月五日

産制世界大会の準備進む——今秋ボンベで馬島、太田、柏原氏ら

出席

食事付千八百円ホテルも用意

世界の人口廿四億——一分間に四十一人生れる

産制具体策を決定——東淀川・狭山・枚方をモデル

大阪の認定講習は九月

新会長に柏原長弘氏——大阪婦人科医会阪大で開く

保険医の産制講習

母性春秋

どこまで続くか“スポンヂ合戦”

産児制限の歴史(7)

人工中絶は危害があるか——府が柏原氏招き講習会

墮しそこなつて捨子——哀れ春を売る母親

ヴィクトリア女王も産児制限を希望

乳幼児の看護法(1)——体温、脈の計り方

済生会が認定講習を主催——大阪支部も準備に着手

カマド製作者送庁

医業特別所得廃止

「苦い米」子を産む

第一号 一九五二(昭和二七)年十一月一日

告

世界産児調節会議——印度で11月24日から32ヶ国代表が出席

太田博士等が出席——印度会議に期待する

サンガー夫人来る——30年振り

時評 人工流産の問題——手術料と悪徳医師

産児調節が中心——日本人口学会の総会

百万弗事件のギャンブル博士来日

海を渡るリング——台湾でも避妊の研究

BCD

日本性教育の歴史 (1) 普遍化されたのは近代

夫の断種は如何が——夫の断種“妻”からみた場合

性科学研究所の活躍——まず性生活の調査から

生れ出ざる悩み——敗戦の落し子混血児 一体誰の罪か

性教育全国同盟——スエーデンの労働婦人

優生保護相談所の窓口から——受胎調節 中年婦人は恥しがり積極

的な20才台

福岡博士に聴く——性教育問題アレコレ

母親クラブ葛飾区に誕生

結婚シーズンに贈る——心強い共稼ぎ夫婦働く婦人こそよき妻

合同結婚相談所板橋に誕生

淋病と結婚の問題——どう切り抜けるべきか

知らしておくべき初夜の衛生——夫も心せよ

コント この責任	代々木 新	3
紹興酒の別名——童女時代から貯える中国の結婚酒		3
母性相談	答・太田 典礼	3
世界一はエジプト——結婚、離婚、出生とも		3
日本の人口問題 学術会議開かる——ユネスコ特別委員会		4
区社会福祉会次々に誕生		4
天野氏予防課長に——大阪府		4
太田式ナイロンリングの治験成績を発表——関東地方産婦人科学会		4
で		4
東京でも講習会——薬剤師に産児調節の		4
リング研究会——治験病院の		4
薬剤師に講習——避妊器具や薬品		4
沃丁避妊法の弱点——大阪婦人科医学会集談会		4
飲んできく避妊薬		4
大阪府の受胎調節指導員認定講習——連続開催		4
ソーハにたよる低調な農村の産児調節	近藤 浩一	4
珍問集		4

『避妊の研究』（太田リング研究所発行）

第一号 一九五二（昭和二七）年七月二五日		
ようやく盛んになった学界における避妊法の検討		1
全国的に高まる産児制限運動		1
性病保菌年令は		1
サンガー夫人秋に来日		1
人工流産の被害について	太田 典礼	1
今秋インドで国際バス・コントロール大会		1
有効無害な避妊法——太田式避妊リングの実験談	石原 砒	2
ヨーチン避妊法は一時的か永久か（『母性新聞』四号「沃丁避妊法の	永田 茂淵	2
問題点」から抜萃）	奥田惣三郎	2
リングの経験	逸見さかえ	2
金属リングの報告(1)	太田	3
ナイロンリングの臨床的特徴	太田	3
ナイロンリングの完成について	太田	3
ナイロンリングは変化しない		3
未産婦とリング		3
ナイロンリングの使用技術（『母性新聞』五号「リング使用の経験」	大川 竜夫	3
から抜萃）		3
フォード財団百万弗寄付事件その後		3
リングに淋疾は禁物	太田	3

定価——無料 ISBN4-8350-1352-2 (全3冊 分売不可) セットコード ISBN4-8350-1349-2)

発行——二〇〇〇年六月二五日発行

©二〇〇〇

性と生殖の人権問題資料集成

解説・総目次・索引

発行者——船橋治

発行所——不二出版

〒一三三〇〇三三 東京都文京区向丘一―二―二 電話〇三(三八二二) 四四三三 振替〇〇一六〇―二一九四〇八四

組版——埼玉福祉会／アドバン

印刷所——三進社

製本所——青木製本所

解説者紹介——荻野美穂(おぎの・みほ)

大阪大学教員

一九四五年 中国青島に生まれる

奈良女子大学大学院博士課程中退

主要著作 『制度としての女』(共著 一九〇年 平凡社)

『生殖の政治学―フェミニズムとパース・コントロール』(一九九四年 山川出版社)

『共同研究 男性論』(共著 一九九九年 人文書院)

松原洋子(まつばら・ようこ)

お茶の水女子大学教員

一九五八年 東京都に生まれる

お茶の水女子大学大学院博士課程修了

主要著作 『優生学の歴史と現在』(仮題) (共著 近刊 講談社現代新書)

『〈文化国家〉の優生法―優生保護法と国民優生法の断層』

『現代思想』(第二五巻第四号 一九九七年 青土社)

『中絶規制緩和と優生政策強化―優生保護法再考』『思想』(第八八六号 一九九八年 岩波書店)

斎藤 光(さいとう・ひかる)

京都精華大学教員

一九五六年

青森県に生まれる 北海道大学大学院・東京大学大学院・修士課程卒業

主要著作

『Love, Sex, and the Body』(『研究の現状と課題』『岩波講座現代社会学10 セクシュアリティの社会学』(一九九六年 岩波書店)

『クラフト・エビニングの『性的精神病質』とその内容の初期移入史』『京都精華大学研究紀要』(第一〇号 一九九六年)

『Psychopathia Sexualis』の初邦訳について―邦訳の原典は原著第何版か?』『京都精華大学研究紀要』(第一七号 一九九九年)

IV 索 引

資料名索引

・数字の表記は、巻数－資料番号を示す。

(編集部)

あ

愛国産児制限相談所の道案内	5-51
アメリカ産児制限運動の母サンガー夫人を 迎えて日本の人口問題について考えま しょう	12-238
安全確実 妊娠調節の手引 函説 〔案内〕	9-140 2-21
医学上より見たる産児制限と其方法	8-127
石崎式妊娠調節弁の解説→受精防止の避妊用 具 石崎式妊娠調節弁の解説	
遺伝・人生・随想	24-398
遺伝と人性	17-328
A. Y. 式新産児調節法	11-210
御祝	19-345
欧米避妊方法批判	4-48
応用問答 生殖器健全法	28-464
応用優生学と妊娠調節	3-41
小川隆四郎	8-118
お知らせ	11-197
御知らせとお願いまで	10-178

か

外国に於ける断種法実施状況(民族衛生資料 第三号)	26-444
解消声明書	6-90
改正優生保護法→詳解 改正優生保護法 〔回答〕	5-57
懐妊及避妊の秘訣	1-8
懐妊避妊自在法 全(智慧の庫第四十五号附 録)	1-1

〔会のよびかけ〕	9-144
确实なる避妊の方法 附断種法(治し方叢書第 二篇)	7-111
家系調査要綱	20-359
家族計画相談カード	11-202
家族制限法	2-13
各国優生関係法令	19-348
家庭産児制限の実際	10-165
家庭と性教育	32-484
家庭の葉 妊娠調節の指針	7-104
加盟申込書	7-99
器具薬品を要せぬ合法的避妊法(近代生活叢 書第一篇)	6-97
北多摩郡全市町村の産児制限実態調査に関 する集計結果表	10-154
謹告	6-68
熊本県医師会調 熊本県人口増強基本調査結 果概要(人口問題資料第4輯)	25-401
熊本県人口増強基本調査結果概要→熊本県 医師会調 熊本県人口増強基本調査結果 概要(人口問題資料第4輯)	
計画産児の知識と実際(別冊政界ジープNo.1・ 受胎調節特集)	10-167
計画産児連盟神戸診療所患者病歴→社団法人 計画産児連盟神戸診療所患者病歴 決議	12-241
結婚行事改善指針(結婚問題資料第一輯)	23-379
結婚新体制	21-369
結婚読本	33-485
結婚と迷信	20-362
結婚と癩病	21-365

結婚ニ於ケル健康問題ノ指導指針	21-370
結婚年齢と所得 結婚促進に関する資料二(大東亜建設民族人口資料二三)	23-385
結婚のすすめ	21-364
結婚報国懇話会々則 附役員名簿	23-381
血族結婚について	20-358
現代学生の性行動	34-494
現代性慾生活問題	30-471
現代避妊法早わかり 附受胎可能期早わかり 曆	10-179
県別及び都市町村別 産児調節実態調査集計 結果表 昭和24・25年度全国17県に於る調査 (人口問題研究所研究資料第76号)	11-226
健民運動(人口資料第三)	23-390
ごあいさつ	11-197
講演と映画の集い“家族計画普及のために”	11-228
豪華版 産制コンドームカタログ	7-116
厚生省・人口問題研究所「産児制限」実態調査結果速報(第二次)について	10-157
幸福な家族計画 受胎調節と妊娠の正しい知識	12-236
幸福のしるべ	11-195
国策産児調節と性常識	7-107
国土・人口・血液	21-368
国防国家の建設と結婚報国聯盟の提唱	19-344
国民優生図解	21-367
国民優生ニ関スル法律案ノ帝国議会ニ於ケル審議ノ経過	19-349
国民優生法	22-374
国民優生法第十六条に関する件(厚生省発衛第一二四号)	25-403
国民優生法中に一条挿入に関する建議案	25-404
国民優生法ニ関スル法規及通牒集 附国民優生法解説	23-394
子宝自在ニ造ル伝 全(官許)	1-2

子宝報国の栞(母子保護資料第二輯)	23-388
子供を産みたくない方	11-199
子の有る法無い法	1-5
今日の日本で実行可能で割に確かな法	2-20

さ

最近に於ける結婚の傾向(暫定稿) 結婚促進に関する資料三(大東亜建設民族人口資料二五)	23-386
最新各種 避妊実行法詳説	9-138
財団法人 人口問題研究会会員募集	26-431
財団法人 人口問題研究会寄附行為	26-435
財団法人 人口問題研究会人口対策委員会 第一回総会議事速記録	26-437
財団法人 人口問題研究会人口対策委員会 第二回総会議事速記録	26-438
財団法人 人口問題研究会募金趣意書	26-432
産院事件に対する声明	9-141
サンガー女史一行日程表	12-240
サンガー夫人伝と産児調節展望	9-130
産児制限研究(パンフレット第一編)	2-24
産児制限実態調査結果の概報(人口問題研究所研究資料第二一号)	9-136
産児制限実態調査ニ関スル概況 人口問題研究所研究報告会報告概要	8-129
産児制限相談所取締ニ関スル概要	6-84
産児制限大講演会	3-33
産児制限と社会主義(人口問題研究所研究資料第四号)	8-124
産児制限と性生活の実態的研究 下町に於ける資料	10-172
産児制限と避妊	2-15
産児制限と避妊法	7-102
産児制限と婦人 付サンガー夫人小伝(よみうり叢書3)	8-119
産児制限と優生学(世界パンフレット通信号	

外)	2-14	産児制限問題の与論調査(読売新聞社実施紙 上討論会資料)	8-123
産児制限ニ関スル世論ノ動向(人口政策委員 会参考資料)	8-122	産児制限論 一名避妊の研究	1-7
産児制限に就いて	8-125	産児制限論(文化パンフレット第二十輯)	2-26
産児制限の解説	9-133	産児制限論を諸方面より観察して(日本産児 調節研究会叢書第一編)	2-16
産児制限の可否(朝日民衆講座第二輯)	5-52	産児調節運動に対する吾等の態度(案)	9-132
産児制限の基礎的理論 新マルサス主義の概 観(人口問題研究所研究資料第十七号)	9-131	産児調節実践普及国民大会開催につき御案 内	11-218
産児制限の研究	8-128	産児調節実態調査集計結果表→県別及び都 市町村別 産児調節実態調査集計結果 表 昭和24・25年度全国17県に於る調査(人口 問題研究所研究資料76号)	3-31
産児制限の自由と人口問題調査会設置に関 する請願	9-143	産児調節大講演会	12-235
産児制限の促進と人口問題解決に関する新 機関設置に関する請願	11-206	産児調節調査票	6-68
産児制限の促進と人口問題解決に関する新 機関設置に関する請願(案)	11-192	産児調節展覧会開催の趣意	6-75
産児制限の正しい知識	10-176	[産児調節展覧会への出品の依頼]	6-75
産児制限の知識(国民医学新書)	8-120	産児調節と避妊	5-61
産児制限の話 避妊の話	6-93	産児調節と夫婦性生活の実態 附優生保護 法	10-177
産児制限の理論と実際(社会問題叢書V)	3-35	産児調節に対する国内の関心と普及状態 〔第二回〕	12-237
産児制限反対論・無量寿経要論	6-88	産児調節について→世論調査 産児調節に ついて 新世連第3回調査	10-161
産児制限批判	11-214	産児調節についての世論調査結果表 新世 連第三回調査	4-47
産児制限普及会規約	11-193	産児調節の学理と実際	7-110
産児制限普及会協議会御案内	11-191	産児調節の心得	12-235
産児制限普及会今後の活動方針(案)	11-191	「産児調節」の調査についてお願い	12-246
産児制限普及会趣意書	11-193	産児調節の普及状況に関する調査	3-32
産児制限普及会の建議	9-150	産児調節の理論と実際	6-65
産児制限無産者同盟規約(草案)	6-74	産児調節の理論と実際 性生活の合理化(性 科学全集第九編)	7-101
産児制限無産者同盟創立大会	6-80	産児調節は出来るか	6-77
産児制限無産者同盟創立大会参加に就いて のお願い!	6-79	産児調節はなぜ大切か	6-70
産児制限無産者同盟組織方針書	6-74	産児調節婦人聯盟規約(創案)	
産児制限問題概観(人口問題研究所研究資料第 十六号)	9-135		
産児制限問題大講演会	3-29		
産児制限問題の人口政策的考察(人口問題研 究所研究資料第四三号)	10-174		

産児調節婦人聯盟趣意書	6-69	社会的色慾論	27-458
産児調節婦人聯盟組織協議会〔呼びかけ〕	6-72	借用書	11-198
産児調節婦人聯盟組織協議会順序	6-71	社団法人 計画産児連盟神戸診療所患者病歴	11-196
産児調節法(改訂再版)	9-146	社団法人 日本家族設計協会定款	11-181
産児調節論	1-12	社団法人 日本防貧協会運動方針書	10-163
産児調節論(春秋文庫31)	5-58	趣意書	2-25
産制及び移民問題を中心とするタムソン博士の発言とその反響(人口問題研究所研究資料第三十八号)	10-158	十八歳未満の子女の分布(人口問題研究所研究資料一〇)	22-378
産制コンドームカタログ→豪華版 産制コンドームカタログ		主旨	11-188
〔賛同の呼びかけ〕	6-63	受精防止の避妊用具 石崎式妊娠調節弁の解説	11-189
色情狂編 完	27-457	受胎調節及び墮胎に関する各国の態度並に施設の概要(人口問題研究所研究資料第四〇号)	10-168
色情と青年	28-462	受胎調節に関する世論調査(世論調査報告書調査番号48)	11-227
色情と其衛生	27-460	受胎調節の衛生教育テキスト(NURSE'S LIBRARY No.108)	12-242
事業場に於ける結婚奨励(結婚問題資料第二輯)	23-380	受胎調節便覧	10-180
指示事項(昭和六年四月二十八日於地方長官会議)〔抄〕有害避妊用器具取締ニ関スル件	6-67	受胎調節法の実際 受胎調節講習会・質疑解説集	12-244
指示事項(昭和六年五月十八日於警察部長会議)〔抄〕有害避妊用器具取締ニ関スル件	6-73	出産力調査案要綱	18-342
思春期の性意識(日本における性の調査報告大集第3巻)	35-499	出産力調査結果速報	20-354
実行することだけが今日の産児調節運動である	11-203	出産歴調査について	12-232
〔「実行方法」を知りたい人への文書〕	2-19	出産歴調査の要領及び記入の仕方 附産児調節調査の要領	12-234
実際に於ける避妊及び産児制限の新研究 附新夫婦の文化生活(沢田性の研究叢書第六巻)	2-17	出産歴調査票	12-233
実地応用 妊娠調節図解 避妊法・人工流産	6-87	出生率高低の社会的要因に関する一考察 岡山県下における調査(人口問題研究所研究資料第八〇号)	12-239
支那事変による出生及死亡の変化(人口問題研究資料一)	19-351	出生率より見たる現下の人口問題(人口資料第二)	23-383
社会衛生学	16-324	純潔教育	34-492
社会改良実論 全	1-4	純潔教育基本要項 附性教育のあり方	34-493
		詳解 改正優生保護法	26-433
		丈夫な子供明るい家庭	12-250

昭和十五年度 ホーム商会取扱品目録	7-114	人口問題	22-377
昭和十三年及昭和十四年各年男子出生数ノ減ト其ノ対策トシテノ死亡率改善ニ就テ(人口問題研究資料二)	19-352	人口問題研究会会員募集→財団法人 人口問題研究会会員募集	
昭和十三年十二月十七日開催 民族衛生研究座談会速記録(民族衛生資料第六号)	26-446	人口問題研究会寄附行為→財団法人 人口問題研究会寄附行為	
昭和十四年人口動態推計(事変ガ人口現象ニ及ボシタル影響ニ関スル資料一)	19-347	人口問題研究会人口対策委員会第一回総会議事速記録→財団法人 人口問題研究会人口対策委員会第一回総会議事速記録	
昭和28年1月～6月 優生保護法関係統計(速報)	26-441	人口問題研究会人口対策委員会第二回総会議事速記録→財団法人 人口問題研究会人口対策委員会第二回総会議事速記録	
諸外国における産児制限の普及状況(研究資料第三十九号)	10-166	人口問題研究会募金趣意書→財団法人 人口問題研究会募金趣意書	
食糧危機と産児制限(人口問題研究所研究資料第二号)	8-121	人口問題講演集 第十三輯(人口問題資料第四十一輯)	20-355
食糧問題の解決として産児制限の価値	3-38	人口問題資料 Ⅱ	25-413
[書状]	11-225	人口問題と産児制限(農村問題叢書)	4-45
女性文化講話 入学・青春期・結婚・優生学・母の再教育	18-335	人口問題に関する意見書	11-215
人口過剰とその対策 産児制限の理論と実際	9-137	人口問題の見地より見たる国民保健問題(人口問題資料第二十一輯)	18-338
人口・産業問題懇談会記録	26-423	新人口政策基本方針に関する建議	25-405
人口食糧問題調査会人口部答申説明	17-331	新マルサス主義→日本パンフレット『第一号』新マルサス主義	
人口政策 完→戦後経営 人口政策 完		人命のための一つの抗議 妊娠中絶に関する道徳的諸問題	26-420
人口政策確立要綱(閣議決定)(企画院第三部新後第二号)	20-360	人類遺伝学の進歩(民族衛生資料第七号)	26-448
[人口対策研究会設立挨拶状]	18-333	人類の遺伝	16-325
人口対策としての家族計画に関する参考資料	26-439	人類の染色体(民族衛生資料第一三号)	26-454
人口対策としての家族計画に関する参考資料(附表)	26-440	図解避妊読本 幸福な家族設計	10-173
人工妊娠新術	1-3	図解ペツサリー式妊娠予防法教本	9-151
人工妊娠中絶並に避妊手術の医学的適応標準に関する調査要綱	23-395	性科学(唯物論全書)	34-488
人工妊娠中絶の諸問題 改正優生保護法詳解	11-184	性科学の基礎知識(新しい知識講座8)	34-495
		請願	9-134
		請願書[マッカーサー宛]	11-209
		性教育はどのように行うか	35-498

性教育ハンドブック 性と性病のはなし	34-489
性教育要綱 指導者のための	34-490
生殖器健全法→応用問答 生殖器健全法	
精神薄弱に関する遺伝の研究(民族衛生研究会資料第二号)	26-443
性的誘惑の種々相とその対策	31-479
青年子女墮落の理由 附其矯救策	28-463
青年と性慾	30-470
性の原理	31-475
生物学上より観たる産児調節論(日本産児調節研究会叢書第三編)	2-22
生物学上より観たる産児調節論(下)(日本産児調節研究会叢書第三編)	2-23
性篇(健康増進叢書)	32-483
声明書〔警視総監宛〕	6-85
生命と性慾	30-473
性欲衛生論	28-465
性慾研究と精神分析学	30-472
性慾哲学	29-467
性慾と産児制限学術大講演会	3-36
性慾の社会的考察(新生協会叢書第三輯)	31-478
性慾の調節	30-474
赤十字博物館報 第貳拾参号 日本民族優生展号	19-350
せち辛い世の中に	7-105
設立趣意書	9-149
世論調査 産児調節について 新世連第3回調査	10-160
全国助産婦並に産婦人科取扱病産院の分布状況(産院設置計画基礎調査第一報)	24-396
全国精神病院在患者遺伝調	18-340
戦後経営 人口政策 完	15-319
染色体と遺伝の関係(民族衛生資料第一〇号)	26-451
造化機論 乾・坤	27-455
相談券	11-200

相談御案内	7-103
〔相談所への支援要請〕	11-216
増補 優生結婚	23-393
尊属ニ対スル殺傷罪其ノ他ノ件依命通牒 (内務省秘第一八七七号)	1-9

た

第3回役員会御知らせ	9-142
第2次(1952年)出産力調査	12-245
第2次(昭和27年)出産力調査の速報(人口問題研究所研究資料第87号)	12-243
第四回理事会報告	6-78
多産地獄 附方法論(産児調節叢書)	3-43
多産亡国論	6-66
墮胎法改正期成会趣旨書	6-82
墮胎法改正期成聯盟趣旨書	6-86
正しい受胎調節法(愛育の葉1)	9-148
正しい妊娠調節教本(婦女界四月号別冊附録)	10-162
誰にも出来る産児調節の方法	9-147
断種の理論と国民優生法の解説	19-353
断種法(京城帝国大学法学会叢刊5)	20-363
断種問題小論	18-339
男女交合得失問答	27-456
男女児自由に懐妊する法	5-55
男女と天才	28-461
男女之研究 完 附録性愛論	27-459
男女の性慾研究 全	28-466
チャームとモーション	32-482
中央産児調節相談所収支決算表	3-40
中央産児調節相談所第壹回統計報告 〔注文ハガキ〕	3-39 10-152
妻の婚姻年齢と出産力 結婚促進に関する資料一(大東亜建設民族人口資料二二)	23-384
妻のための性知識	33-487
独逸に於ける人類遺伝の研究及び民族衛生の現状(民族衛生資料第十一号)	26-452
ドイツの健民政策と母子保護事業	25-402

東京都を中心とする産児制限の実態に関する資料(増補)	10-156
闘性術	32-480
東北三県における産児調節実態調査票未提出者の未提出理由及び調査に対する意見の実情について(人口問題研究所研究資料第七三号)	11-219
特種品目録	7-115
独身者の性生活	34-491
取扱品値段表	7-117

な

長野県農村における受胎調節指導について 第1報(優生保護研究会資料第1号)	12-249
ナチス民族人口政策摘要	21-371
西多摩郡(青梅町・霞村)の産児制限実態調査に関する集計結果表(人口問題研究所研究報告会報告資料)	9-145
日本家族設計協会定款→社団法人 日本家族設計協会定款	
[日本産児制限普及会アンケート]	11-186
[日本産児制限普及会アンケート]	11-187
日本産児調節調査会設立主旨	3-42
日本産児調節婦人同盟趣意書及規約	6-91
日本産児調節聯盟解消ニ関スル最後の理事会記事録其他	6-89
日本産児調節聯盟宣言及規約	6-76
日本産児調節連盟の沿革とその業績	11-222
日本人口衛生協会設立記念シムポジウムへの御招待	26-430
日本人口衛生協会設立趣意書	26-429
日本人口学会に於けるC・J・ギャンブル博士の講演	26-436
日本人口の将来	25-406
日本人口白書 附最近の主要人口統計	26-427
日本人種改造論	15-320
日本人の性生活	35-496

日本人を主とした人間の遺伝	23-391
日本における産児制限の概観(人口問題研究所研究資料第七〇号)	11-208
日本の過剰人口解決に関しフォード財団へ寄附申請参加勧誘先	11-224
日本の過剰人口解決に関しフォード財団へ寄附申請参加署名者	11-225
日本の過剰人口解決の為の教育計画	11-225
日本の家庭に適した新しい避妊法	11-194
日本パンフレット『第一号』 新マルサス主義	1-11
日本防貧協会運動方針書→社団法人 日本防貧協会運動方針書	
[入会案内]	3-34
[入会の案内]	11-211
妊産婦保健関係資料	24-397
妊娠及産ニ因ル死亡統計 自明治三十二年至同四十一年	16-322
妊娠及避妊の新研究	1-10
妊娠制限又ハ避妊玉「アトシア」ト称シ販売スルモノ、義ニ付回答ノ件	1-6
妊娠中絶(墮胎、死流産)の割合に関する資料(人口問題研究所研究資料第四四号)	10-169
妊娠調節図解→実地応用 妊娠調節図解 避妊法・人工流産	
妊娠調節相談(婦人衛生読本)	8-126
妊娠調節と性の科学	4-50
妊娠調節の医学的知識	5-62
妊娠調節の一切の御相談は母の相談所へ	11-201
妊娠調節の実際知識	4-46
妊娠調節の実知識 全	3-28
妊娠調節の手引 図説→安全確實 妊娠調節の手引 図説	
妊娠調節の理論と実際 生活難の解決	5-53
妊娠調節 優生児家庭相談	5-60
妊娠と制限	6-96

妊娠と避妊の知識 子宝を得たい人子供が出来ては困る人必読書	6-95
妊娠・分娩・産児調節(家庭科学体系60)	4-49
農村人口収容力調査 岩手県紫波郡飯岡村・香川県木田郡井戸村・香川県香川郡一宮村(人口問題研究所研究報告資料)	11-182
農村人口収容力に関する調査(人口問題研究所研究報告資料)	11-183
は	
パーポスィヴ・サンプリング・メソッドによる産児制限に関する輿論調査 その一(人口と産業問題振興会研究資料第一号)	10-175
〔「パイプ式妊娠調節弁」の有償見本頒布の案内〕	11-212
パイプ式妊娠調節弁 Ben の批判	11-229
B. C. L 優生結婚と産児調節を指導する会(B C L資料第1号)	10-153
非常時局下に於ける民族衛生問題(民族衛生資料第五号)	26-447
避妊及人工流産ニ関スル請願	6-92
避妊実行法詳説→最新各種 避妊実行法詳説	
避妊調査票	10-155
避妊と妊娠中絶の実際知識	10-171
避妊乃研究	5-56
避妊の実行不実行者別にみた死流産率に関する一資料 群馬、和歌山、岡山、香川、鹿児島県下における出産歴調査からの特殊集計(人口問題研究所研究資料第七五号)	11-221
避妊の実行方法	5-54
避妊の知識(「ルック・エンド・ヒヤー」第一巻第四号附録)	10-170
〔封筒〕	12-235
夫婦読本 第二巻 バースコントロール(産児制限)の正しき知識	3-37
夫婦の性的生活	31-477
フォード財団宛寄附申請書(案)	11-231

フォード財団寄附申請に関する八人委員会 申合せ事項	11-230
フォード財団に寄附金申請書(案)	11-223
フォード財団に寄附金申請書(訳文)	11-225
婦人性学 全	29-468
婦人ノ受胎期(木下産科婦人科叢書第9巻)	7-108
不妊症の治し方(治し方叢書第一篇)	7-109
プロBC供給品定価表	7-98
プロレタリア優生児調節 妊娠衛生	5-59
文化環境と民族の変質(民族衛生資料第八号)	26-450
文明の中枢	2-27
平和な家庭生活を望まれる主婦に御知らせ	11-217
変態性医学講話	33-486
変態性格者雑考 全(変態文献叢書第参巻)	32-481
変態性慾講義	31-476
変態性慾論 同性愛と色情狂	29-469
報告書	9-139
報告書 自昭和23年4月1日至昭和24年3月31日	10-159
報告書 自昭和24年4月1日至昭和25年3月31日	11-185
報告書 自昭和25年4月1日至昭和26年3月31日	11-207
ホーム商会取扱品目録→昭和十五年度 ホーム商会取扱品目録	
保健衛生調査会第一回報告書	16-326
保健教本 母性の保護 改訂版	25-400
保健所運営の実際	22-375
保健所ニ関スル法規及例規	23-382
保健婦読本 続篇	23-392
保健婦に就いて	21-372
母子衛生の主なる統計	25-419
母子衛生の主なる統計	26-424
母子衛生の主なる統計 昭和27年度版	

	26-428
母子保護の重要性に就て 附参考資料(母子保護資料第一輯)	23-387
母性科学協会設立趣意書	11-205
母性指針	21-366
母性の保護 改訂版→保健教本 母性の保護 改訂版	
母性文化協会(仮称)設立趣意書	10-164
[母性文化協会(仮称)設立総会案内]	10-164
母性文化協会(仮称)定款案	10-164
母性膜ペツサリの使ひ方	7-113
本市に於ける優生相談所に関する資料(社会部報告第一八四号)	7-106

ま

毎日開く相談所新設の御挨拶	7-112
未亡人 生理・心理・実態・社会問題	35-497
民種改善模範夫婦	15-321
民族衛生学	16-323
民族衛生研究座談会速記録→昭和十三年十二月十七日開催 民族衛生研究座談会速記録(民族衛生資料第六号)	
民族衛生資料(民族衛生研究会資料)第一号～第一三号	26-442～454
民族科学研究 第1輯(日本学術振興会〈民族科学〉第11特別委員会報告)	24-399
民族の運命 日本国民に懇ふ(民族衛生叢書1)	25-409
民族優生制度案要綱	18-341
民族優生制度案要綱に就て 附民族優生方策(民族衛生資料第十二号)	26-453
民族優生とは何か(民族衛生資料第九号)	26-449
民族優生保護法案	18-334
無産者産児制限展覧会 労働者券	6-83
無産者産児制限同盟規約	6-81
無産者産児制限とは何か(プロ BC・リフレッツ 第一輯)	6-94

最も新しい大衆的避妊法	7-100
最も新しい最も確実な通経法に依る産児調節	11-204

や

役員会延期御通知	9-142
有害避妊用器具取締ニ関スル件→指示事項(昭和六年四月二十八日於地方長官会議)[抄]	
有害避妊用器具取締ニ関スル件	
有害避妊用器具取締ニ関スル件→指示事項(昭和六年五月十八日於警察部長会議)[抄]	
有害避妊用器具取締ニ関スル件	
夕すゞみ幻灯の会	11-199
優生学概論	18-336
優生学的社会改造運動(学芸講演通信社パンフレットNo.25)	17-329
優生学と社会生活	17-332
優生学と人生	17-327
優生学の理論と実際 特に精神医学との関係に於て	20-356
優生結婚→増補 優生結婚	
優生結婚	25-418
優生結婚と優生断種	22-373
優生講話	18-337
優生制度案要綱 国民体力審議会ノ答申	18-343
優生制度資料(カード)	20-357
優生相談所案内 日本産児制限協会賛助会員のすゝめ	6-64
優生断種法トハ何か 民族優生保護法案・遺伝病子孫防止法(民族衛生研究会資料第一号)	26-442
優生断種法に就て(民族衛生資料第四号)	26-445
優生と胎教(家庭の科学)	26-425
優生法案	19-346
優生保護相談所の実情と受胎調節指導の基本問題	12-248

優生保護法案	25-407	ユウゼニックス(岩波講座生物学)	17-330
優生保護法案 送付/発議	25-410	よき子を産むために 懐妊の調節に就て	3-30
優生保護法案に対する検討結果要旨	25-408	予防衛生ニ関スル法規及例規 附参考資料	20-361
優生保護法解説	25-411		
優生保護法関係統計→昭和28年1月～6月			
優生保護法関係統計(速報)			
優生保護法関係法規集	26-426		
優生保護法施行後の人工妊娠中絶の状況に 関する研究(第一報)(人口問題研究所研究資 料第六七号)	11-190		
優生保護法実施情況調査資料	26-421		
優生保護法実施情況統計資料 自昭和二十 四年一月至同六月	26-422		
優生保護法詳解	26-434		
優生保護法と妊娠中絶	25-412		
優生保護法の一部を改正する法律案	25-416		
優生保護法の一部を改正する法律案 送付 /発議	25-414		
優生保護法の一部を改正する法律案(参議 院提出)に関する報告書	25-417		
優生保護法の一部を改正する法律案に対す る修正案	25-415		
		ら	
		流早死産の防止(母子保護資料第三輯)	23-389
		わ	
		我が人口問題に関して朝野の識者に訴へる	11-213
		我が国の産児制限運動の批判と予の提唱(学 芸講演通信社パンフレットNo.38)	4-44
		我が国の人口問題と人口政策確立要綱(人口 資料第一)	22-376
		我が人口問題と産児調節論(日本産児調節研 究会叢書第二編)	2-18
		我が家の人口計画 受胎調節と不妊治療	12-247
		和歌山県下における産児制限実態調査結果 の概要(人口問題研究所研究資料第74号)	11-220

執筆者名索引

- ・数字の表記は、巻数—資料番号を示す。
- ・配列は五十音順で、外国人名も姓を基準とした。
- ・編集部で補足した名前は〔 〕で示した。
- ・執筆者には、訳・編・検閲・校閲・装幀者も含めた。

(編集部)

あ			
青柿善一郎	9-138	池田林儀	3-41, 17-329
青木太郎	12-249	池見 猛	19-353
青木延春	22-373, 26-448	石垣純二	10-173, 12-242
青柳善一郎	8-118	石川栄耀	24-399
青柳有美	29-467	石河 薫	32-482
赤津誠内	4-47	石川貞吉	29-469
秋元洗二	29-468	石田博英	21-369
朝岡稲太郎	26-448	石原 修	31-478
浅田 一	10-167	石本恵吉	2-18
朝山新一	34-494	石本静枝→加藤シヅエ	
アストン, ゼームス	27-455	市岡冬太郎	5-60
安部	26-423	市川源三	18-335
安部磯雄	1-7, 3-35, 4-45, 5-52, 8-118, 26-446	市川篤二	10-162, 34-489
阿部長助	33-487	一丁田健一	10-173
阿部文夫	18-337	稲葉秀三	26-423
安倍雄吉	10-167・170・173・179, 25-412	井上友一	1-7
天岸敏介	24-399	井上万寿蔵	26-423
天野景康	9-151, 10-162, 26-423	岩田三史	6-66
天野文子	9-151, 10-167	上田正夫	24-399
荒川五郎	18-334	ウエルス, エイチ・ジー	2-27
安西 勇	22-375	ウエルプトン, P.K	11-208
安藤画一	8-128, 10-167・173, 12-247, 34-490・493	浮田和民	1-7
飯田政良	8-118	氏原佐蔵	16-323
飯塚康正	8-118	牛丸義留	10-170・173・179, 11-184
池上政人	10-170	内田勇四郎	24-399
		内田魯庵	30-474
		内野 稔	24-399
		宇原義豊	19-344
		梅沢彦太郎	6-66

菊地甚一 18-339
 木田文夫 26-425
 北井啓之 6-87
 北岡寿逸 9-137, 11-191・225, 19-350,
 20-355
 北島多一 16-323
 北野高弥 8-118
 北野博美 31-476
 木下正中 7-108
 紀平正美 5-52
 木村武子 35-498
 木村万平 35-498
 木村巳之助 27-456
 ギャンブル, C・J 26-436
 久慈直太郎 8-127
 久布白落実 32-484
 窪田嘉彰 24-399
 熊谷憲一 21-369
 熊沢清志 24-399
 クラフト=エビング 27-457
 Kranz, H 26-443
 栗原 精 8-118
 呉 文聡 15-319
 慶松一郎 10-167
 小池四郎 3-30・32・39
 小泉 丹 17-330
 河野金昇 10-167
 小坂寛見 26-423
 小島 温 12-249
 小林和正 8-129, 9-136
 小林 琴 8-118
 小林美代 8-118
 小船 26-423
 駒井 卓 23-391
 小見山栄一 35-498
 小宮山新一 23-392
 古屋芳雄 10-167, 20-355, 21-368・369,
 24-399, 26-450

さ

斎藤 潔 24-399
 斎藤 响 19-350
 斎藤茂三郎 17-328
 斎藤鏖一 12-242
 佐伯誠一 10-173
 堺 利彦 3-35
 榊保三郎 30-472
 桜井満洲雄 8-118
 佐々木金次郎 1-7
 佐々木曠 27-458
 佐佐木行忠 18-338, 20-355
 定方亀代 34-492
 佐藤 正 24-399
 沢田順次郎 1-10, 2-17, 15-321, 27-459,
 29-469, 33-486
 沢田正二郎 32-482
 サンガー, マーガレット 1-12, 2-13・
 27, 5-54, 9-151
 椎尾ひとし 6-88
 滋賀秀俊 12-242
 式場隆三郎 9-130, 10-167, 34-491
 志立鉄次郎 8-118
 篠崎信男 8-129, 9-136・145, 10-154・
 156・166・169・172・177・178, 11-219・
 220・221・226, 35-496・497
 篠原美代子 12-249
 島中雄三 26-448
 島村俊彦 9-131, 10-168
 下光太郎 6-66
 下田次郎 31-475
 下村 宏 18-338
 霜 山 生 27-458
 荘田要二郎 1-7
 白石麒麟志 8-118
 白石道雄 8-118
 白石 豊 35-496・499

白木正博 21-366
 代田 要 8-118
 儿々子 30-474
 杉江 董 29-469
 杉田直樹 32-483
 杉野為次 24-399
 杉山重義 3-38
 鈴木 薫 1-7
 鈴木 繁 24-399
 ストープス, マリー 5-56
 駿河尚庸 28-465
 瀬木三雄 8-128, 10-173, 12-236,
 25-402

た

台陰居士 1-3
 高口保明 12-248
 高島米峰 21-369
 高田義一郎 32-480
 高野善一郎 21-369
 高野六郎 20-355, 21-369, 26-446・448
 高橋勝好 11-184, 26-433
 高橋梵仙 10-167
 高橋 寥 6-96
 田川大吉郎 8-118
 滝川 清 10-173
 滝本二郎 4-48
 竹内茂代 21-369, 25-418, 26-448
 竹田津あさ 6-87
 竹田津六二 6-87, 8-118, 9-140
 竹中七郎 25-410・414
 武部 啓 26-451
 武部滝三郎 27-456
 建部遯吾 17-332
 館 稔 8-128, 10-173・179, 24-399,
 25-406
 館林宣夫 24-399
 田中王堂 30-474

田中香涯→田中祐吉
 田中耕太郎 8-125, 10-167
 田中孝子 21-369, 26-448
 田中たつ 25-404
 田中祐吉(田中香涯) 17-327, 27-458,
 28-466, 31-477
 田中義麿 24-398
 田波幸男 26-443
 谷口弥三郎 10-167・170, 25-410・411・
 414, 26-434
 谷野富有夫 24-399
 谷村春子 34-492
 谷本 富 27-458
 谷本梨庵 28-461
 田村化三郎 1-5
 垂水角蔵 8-118
 丹下坂宇良 11-216
 竹風酔人 28-461
 千葉 繁 27-455
 土田哲太郎 24-399
 堤 辰郎 5-62
 角田重信 22-375
 坪井正五郎 27-459
 ズリスデル 1-7
 鶴島 孝 8-118
 亭 翁 30-474
 暉峻義等 4-44, 5-58, 23-392
 土井十二 22-374
 東郷青楓 28-461
 徳村謙吉 18-338
 床次徳二 26-448
 戸田正三 10-167
 戸田貞三 24-399
 土肥慶蔵 32-483
 富沢 功 35-498

な

永井 亨 11-231, 26-427

永井 潜 18-336, 25-409・418, 32-483,
33-485
中井博松 9-146, 12-244
中尾音吉 7-102
中川紀元 3-30
中川友長 19-352, 24-399
中島徳蔵 1-7
中島竜太郎 11-182・183
中根孝之助 8-118
中野 理 9-138
中村古峽 32-481
中村進午 28-463
中谷驥一 27-460
中山寿彦 25-410・414
南雲雪夫 11-182・183
名古屋三吉 6-66
名古屋長蔵 6-66
那須耐成 9-146
名村春操 32-482
新妻イト 10-167
西川文子 1-7
西倉俊一 26-423
西野入徳 11-214
西村辰男 6-93
二宮徳馬 26-423
葦沢慶子 10-167
根岸情治 4-46
根津美基 24-399
野口与一 7-104
野坂 竜 10-167
野尻与顕 4-50, 7-100, 8-118
野瀬市郎 6-97
野田君子 2-24
野津 謙 24-399

は

萩野憲祐 21-369
長谷川月嶺 1-8

長谷川敏雄 10-173
秦清三郎 10-170
畑中蓼坡 8-118
蜂谷貞子 32-484
花井卓蔵 15-321
花房直三郎 16-322
花柳章太郎 32-482
羽田 26-423
馬場嘉市 32-484
羽太鋭治 2-15, 29-469, 32-482
浜田 格 9-147
早川益甫 1-8
林 茂 12-239
林 俊一 10-167
林 讓治 10-167・173
林 譚〔木々高太郎〕 26-448, 35-497
林 春雄 19-350, 24-399, 26-446・447
原 清 12-242
原 真男 28-462
般若居士 27-458
ピアズレー 9-130
樋口武志 8-118
久永蓮江 5-55
日比野寛 28-463
平井 成 28-464
平井政良 8-126
平岡保三 8-118
平野助三 1-1
平福百穂 4-49
深尾須磨子 21-369
深川タマエ 10-167
福岡武男 35-498
福田昌子 10-167, 25-411, 35-497
福田好輔 6-66
福原義柄 16-324
藤井久四郎 10-165
藤浪 鑑 30-470
藤本 直 20-363

藤森真治 25-410・414
 藤森速水 11-229
 布施 亮 4-50
 二木秀雄 10-167
 二村良臣 24-399
 麓 保孝 19-350
 古川 栄 28-462
 古瀬安俊 26-446
 ヘーガル 27-458
 帆足 計 10-176
 保坂孝雄 7-109・111, 10-162
 暮村隠士〔久津見蕨村〕 30-474
 堀 秀彦 35-497・498
 ボルグストローエム, トラヴァース 3-38
 本多竜雄 8-124, 9-135, 10-167・174,
 12-237・246, 21-371

本堂平四郎 29-469

ま

前田誠孝 31-479
 正木 亮 26-446
 馬島 憫 3-35, 5-56・61, 6-65, 8-118・
 125, 9-144・147, 10-167, 11-203
 松浦有志太郎 32-483
 松原健吉 1-1
 松原久人 26-442・443・446
 松村介石 30-474
 松村松年 2-22・23
 松本 寛 8-128, 10-162・170
 松山亥三雄 10-171
 松山みどり 10-171
 真船伝六 3-43
 三木行治 10-173, 25-412
 三国一義 10-167
 水島治夫 24-399
 道旗泰誠 8-118
 満田久敏 26-452
 南崎雄七 18-338, 24-399

美濃口時次郎 22-377, 26-423
 三宅亀次郎 30-474
 三宅鉦一 20-356, 26-446・448
 三宅 秀 27-458
 宮崎虎之助 30-474
 宮崎 一 6-66
 宮橋良三 32-482
 宮本欽司 8-118
 向 軍治 30-474
 村上雄策 8-118
 村山愛民 1-3
 望月 衛 35-498
 本島善作 8-118
 森山 豊 9-148, 10-173

や

矢ヶ崎徳蔵 24-399
 八木逸郎 26-446
 矢島敬二 8-118
 安井 洋 23-393, 26-448
 安田徳太郎 34-495
 安田守雄 24-399
 柳沢利喜雄 24-399
 矢野 中 11-210
 山内繁雄 16-325
 山川 均 3-35
 山崎 清 4-49
 山崎 佐 8-128
 山添利作 26-423
 山田秀次郎 6-95
 山田弁信 21-369
 山中静也 5-54
 山中篤太郎 26-423
 山根正次 28-462
 山本杉子 8-125, 10-167
 弓家七郎 2-14
 横井春野 7-107
 横田 年 8-128

与謝野光	24-399
吉岡弥生	21-369
吉田章信	24-399
良田圭子	11-190
吉田秀夫	10-167
吉益脩夫	20-356
米沢常道	26-446
米田庄太郎	30-471

わ

ワイニングル, オットー	28-461
渡辺霞亭	27-458
渡辺 定	19-350
渡辺伸一	10-165
渡辺紳一郎	10-167
渡辺 武(武彦)	6-66
渡辺万里江	10-175
渡辺義雄	22-375

V
雜誌編
(第13・14卷)
索引

執筆者名索引(雑誌編)

・本索引は編集復刻版『性と生殖の人権問題資料集成』雑誌編＝第13巻・第14巻収載の雑誌におけるそれぞれの執筆者の索引である。『産児制限』（改題＝産児制限評論・産児調節）は第13巻、ほかはすべて第14巻に収載されている。

・表記の数字は、それぞれの雑誌に準じ、原本の巻数－号数－頁数、号数－頁数、頁数を表す。原本にページ表記のない場合は（ ）を付した。

・配列は五十音順で、外国人名も姓を基準とした。

・編集部で補足した名前は〔 〕で示した。

（編集部）

●産児制限(改題＝産児制限評論・産児調節)

あ			
	天野信郎		1-5-5
	荒川五郎		3-12-52
I・M生	2-11-47	飯田三美	3-12-4
愛児女性協会産児制限相談所	3-6-30	飯村五郎	3-12-46
葵イツ子	6-8-80	井口芳子	3-10-45
碧易四郎	4-5-60	池田敬八	3-12-50
青柿善一郎	3-2-69	池田林儀	1-1-5, 1-2-6, 2-6-4
青木	6-8-38	池見 猛	6-8-30
青木亮貫	3-12-49	い さ む	6-8-93
青野即本	2-11-2, 3-2-5・12	井沢三樹	3-4-22・48, 3-5-41, 3-6-52,
秋沢明世士	4-6-7		3-12-10
秋沢定吉	1-2-4, 1-4-9, 1-6-8, 1-7-9,	石川	6-8-22
	2-10-36, 3-2-9, 3-3-25, 3-4-22,	石川愚庵	4-5-26
	3-5-29, 3-6-24, 3-10-35, 3-12-27,	石川光昭	6-8-15
	6-6-12	石崎敏行	3-12-49
秋田雨雀	2-11-16	石原 亮	3-6-64
足達三郎(足達生)	2-11-67, 3-2-26,	石本静枝〔加藤シヅエ〕	6-8-66
	3-3-17, 3-4-22・39, 3-9-52, 6-2-3,	石渡安躬	1-5-6, 1-7-10, 2-4-27
	6-8-91・93	市川ひで子	3-7-46
安部磯雄	1-2-2, 2-1-2, 2-10-1,	一 記 者→本誌記者	
	2-11-5, 3-2-6, 3-3-29, 3-4-2,	一 読 者	3-3-24
	3-5-2, 3-6-2, 3-7-2, 3-8-2, 3-9-2,	一瀬一二	3-12-48
	3-10-2, 3-12-2, 4-5-2, 6-2-2・6,	伊藤	2-5-28
	6-4-2・6	井上末彦	3-9-33
阿部静枝	6-8-75	井上常之	6-6-38

武井正衛	6-4-18	2-2-8, 2-4-16・26, 2-5-21, 2-6-22,
武内作平	3-12-49	2-10-10, 2-11-32, 3-2-32・42,
竹内茂代	1-6-2	3-3-51, 3-4-42, 3-5-36, 3-6-44・
立川太郎	3-12-50	50, 3-7-28, 3-8-24, 3-9-21,
橋 覚勝	6-8-34	3-10-16, 3-12-54, 4-5-43, 4-6-23
田中孝子	6-8-72	新居 格 6-8-40
田中養達	3-12-50	新妻伊都子 1-2-4, 1-7-12
谷 厚美	6-4-30	西謙一郎 3-12-7
玉生辰雄	6-8-54	西脇 晋 3-12-48
玉生虎雄	4-6-31	新渡戸稻造 2-2-5
淡海性人	3-9-41, 3-12-13, 6-6-27	野尻与顕 1-1-2, 1-7-2, 2-1-4,
辻本豊三郎	3-12-49	2-10-25, 3-3-46, 3-4-22・33,
都築豊吉	3-10-38	3-6-12・60, 3-7-9, 3-8-11, 3-9-10・
津村秀男	2-10-40	28, 3-10-32, 3-12-42, 6-4-6・52
T S 生	2-11-68	則元由庸 3-12-52
寺田市正	3-12-49	
戸井嘉作	3-12-48	は
東郷 実	3-12-46	バー, ゼームス 1-7-8, 2-1-8
遠山郁三	6-8-36	ハーデー, G(ハーデー, ギー) 1-1-7,
徳田宗雄	6-4-26	1-2-8
とし 忍(とし)	2-10-表紙, 2-11-表紙,	長谷川茂治 3-6-22
3-2-表紙		バックマスター 3-4-13
戸 田 生	6-8-91	バッタファイルド, O・M 6-2-7, 6-6-22
戸部良裕	3-12-51	服部教一 3-12-51
		服部英明 3-12-47
な		早坂二郎 3-5-12
内藤初代	1-1-11	林 七六 3-12-48
永井 潜	6-8-34	林 平馬 3-12-50
中尾音吉	4-5-53, 4-6-40	B 記者→本誌記者
長尾半平	3-12-52	B C同志会準備会 3-8-17
長尾美知	6-8-31	平川松太郎 3-12-47
中谷貞頼	3-12-46	平塚雷鳥[平塚らいてう] 6-8-64
中根あきの	3-7-8, 4-5-64	平野 馨(平野) 4-5-(1)・48・69, 4-6-1・
中野近恵	6-8-89	31, 5-9-12
長野総良	3-12-51	平山信子 6-8-58
名古屋長蔵	4-5-40, 6-8-20	ヒルシウフェルト, マグヌス 3-2-21
成田 清→成田晴彦		広津和郎 2-6-21
成田晴彦(成田清、成田生)	1-2-13,	深沢豊太郎 3-12-49

福永久寿衛(福永) 1-1-14, 1-2-13,
1-4-8, 1-5-11, 2-5-28, 4-6-14

福原雨六 6-6-52

藤田若水 3-12-52

婦人記者 3-10-40

布施 亮 1-2-9, 2-10-48

布施夫人 2-10-49

ブゼー, W A 3-3-32

古川竹二 6-8-25

古島宮次郎 3-12-48

古瀬 生 2-11-49

古瀬長栄 3-12-23, 4-6-60

編輯 係 3-2-5

編輯 子 2-10-(58)

編輯 室 3-8-17

編輯 部→本誌編集部

某 氏 5-9-6

保坂孝雄 6-8-48

星島二郎 3-12-52

本誌記者(記者、一記者、本誌研究部記者、A
記者、B記者、研究部記者、本社記者)
1-4-11, 2-6-30, 2-11-31, 3-6-49,
3-7-32, 3-8-41, 3-9-27・37・38・58・
59・65, 3-10-51, 3-12-58, 4-5-13・
21・66・68, 4-6-63, 5-9-5

本誌研究部(本社研究部) 3-7-34,
3-8-45, 3-9-61, 5-3-4・5, 5-9-10

本誌研究部記者→本誌記者

本誌資料係 3-4-17・47

本誌婦人記者 3-10-54, 4-5-14, 4-6-18

本誌編集部(編集部) 3-2-21・57,
3-3-42・50, 3-8-31, 3-9-20

本社記者→本誌記者

本社調査部 4-6-28

本庄道太郎(本庄道郎、本庄生、本庄)
1-4-7, 1-5-10, 1-6-9, 1-7-4,
2-1-9・11, 2-2-13, 2-4-23・26,
6-2-3, 6-4-6・22, 6-6-41

本草薊章生 3-2-37

ま

牧野賤男 3-12-50

まさよし→大滝正義

馬島 憫 1-4-2, 2-2-2, 2-11-26,
3-6-8, 3-7-35, 3-8-33・62, 4-5-50,
5-3-6, 6-2-6

榎谷寅吉 3-12-49

町田良秋 3-3-9

松井邦治 3-12-51

松尾宝作 6-8-44

松原一夫 3-7-53, 3-8-18

真鍋儀十 3-12-47

水村江三 3-5-48, 3-8-56

溝江亮一郎 2-4-8, 2-5-10

三田馬太郎 3-4-50

皆川美彦 3-4-28

三原昇遙 3-12-25

宮川静枝 1-5-4

宮城乾之助 5-9-4

三宅驥一 6-8-38

宮崎竜介 2-11-20

宮沢 裕 3-12-51

向井又吉(向井) 2-10-21, 3-2-43・71,
3-3-56, 3-4-22, 3-6-36, 3-7-48・49,
3-8-44

村上雄策 6-6-2, 6-8-49

森岩太郎 2-10-54, 2-11-68, 3-3-58

守屋栄夫 3-12-48

諸岡 存 6-8-6

や

矢島 1-5-15

安岡雄三 3-5-60, 3-8-1

安田徳太郎 3-3-5

柳 広哲 3-6-34

柳原白蓮 2-10-33

藪井竹庵	2-6-19	3-7-5, 3-12-14
矢部友衛	6-8-表紙・1	ルブランク, トーマス・ジュー 2-4-12
山崎 猛	3-12-47	ルブリンスキイ, ポール 1-4-4, 1-5-9
山田	2-5-29	ロビンソン, ウィリアム・ゼー(ロビンソン, ウィリアム・ゼー、ロビンソン, ウィ リアム・ジュー、ロビンソン, ウィリ アム、ロビンソン) 3-7-18,
山内房吉	2-10-34	3-8-5, 3-9-17, 3-12-31, 6-2-4
山榊儀重	3-12-49	
山室軍平	2-10-33	
山本厚三	3-12-50	
山本琴子	3-7-24	ロング, エッチ・ダブリュー 3-6-16
山本宣治	3-3-1	
行政長蔵	2-5-28	

わ

	ら	Y, N 2-10-前付2
		渡辺一郎 3-3-60, 3-4-53, 3-5-43
緑 夢	2-11-55, 3-3-21, 3-4-59,	渡辺素邦 3-12-50

●『小家族』

安部磯雄	1-1	加治時次郎〔加藤時次郎〕	1-3
石本恵吉	1-4	加藤勘十	1-7
石本静枝〔加藤シヅエ〕	1-6	布川静淵	1-2

●『産児制限運動』

秋田雨雀	1-3	徳永 直	2-7
岩崎素子	1-8	中根あきの	2-4
神近市子	1-6	畠田盛雄	2-9
小林美代	1-12	山本琴子	2-3
下山計雄	2-11		

●『プロ BC ニュース大衆版』

茨城一農夫	4-4	プロ BC 常任委員会	4-1
プロ BC 技術部員	4-4		

●『産児調節ニュース』

赤松常子	1-2	日本産児調節婦人同盟	1-1
阿部静枝	1-1	山室民子	1-1

●『産児制限』

浅田 一	2-2-24	天野景康	1-1-裏表紙裏, 2-2-4
------	--------	------	-----------------

天野文子	2-2-4	中井卓次郎	2-2-26・43・44
磯 正盛	2-2-34・46・47	中島鎌太郎	2-2-31・47・48
M・S	2-2-裏表紙裏	古沢岩美	1-1-表紙, 2-2-表紙
サンガー, マーガレット	1-1-裏表紙裏	本庄道太郎	2-2-49
式場隆三郎	1-1-(1), 2-2-57	馬島 憊	1-1-(1), 2-2-2・43
杉本清治	2-2-45		

●『産調時報』

安部磯雄	1-2	篠崎信男	2-2
天野文子	1-3	高田	1-4
金子 章	2-2	なかや・しげる	1-2
小林和正	2-2	橋本虎六	2-2
式場隆三郎	1-2	馬島 憊	1-1, 2-1

●『日本産児計画情報』

Amano	4-1-9・29	グットマツカー, アランF	1-1-20
天野景康	1-1-22・24, 2-1~2-18, 2-3~4-27, 3-1~3-4・31, 4-1-20	グレーフェルンベルグ, アーネスト	1-1-20
天野文子	1-1-18, 2-1~2-4, 2-3~4-27, 3-1~3-9, 6-4-84	厚生省	2-1~2-5, 2-3~4-26, 3-1~3-2, 4-1-4, 4-2-33・35・36, 4-3~4-53
新井昭一	4-1-17	古屋芳雄	2-1~2-2, 4-1-20
イーストマン, N J	1-1-20	近藤 肇	4-1-3
石垣純二	4-1-6, 4-2-31	サイベルス, R. E	1-1-20
ウィンスロー, C. E. A	1-1-1・13	サンガー, マーガレット(サンガー, マーガ レット)	1-1-1・13, 2-3~4-29, 4-1-13, 4-2-43, 5-1-2, 6-4-表紙裏・90
ウエルス, フローレンス	6-4-83	篠崎信男	4-1-5, 4-3~4-54
ウェルプトン, パスカル・K	1-1-15	下条康麿	5-1-9
A B C	4-1-19	ストープス, マリー・C(ストープス, マ リー)	1-1-16, 2-1~2-9
X Y Z	4-1-8・24・27, 4-2-49, 4-3~4-51・69, 5-1-12	ソバニ, N. V	4-1-19
オテゼン=エンゼン, エリゼ	1-1-17	館 稔	1-1-3, 3-1~3-1
柏原長弘	1-1-21	タンプソン, W. S(タンプソン, ワレン・S)	1-1-2・14
Kawakami, H	2-3~4-25	Dickinson	5-1-8
北岡寿逸	2-3~4-41	テイーツエ, クリストフア	5-1-3
ギャンブル, シ・ジェ(ギャンブル, クレアレ ンス・ジェ, Gamble)	4-1-20, 5-1-7・8	テイキンソン, ロバート・L	1-1-20
ギルマン, ミルドレット	3-1~3-13		
グッツマン, ハリー・ジー	5-1-1		

土居 淳	4-1-1	浜名志松	4-3~4-60
床次徳二	3-1~3-27	ヒンメルフェルト, F	4-1-7
ドライステール, C. V	2-1~2-6	フィラデルフィア家族計画協会	
内藤豊次	4-1-20		3-1~3-14
Nakai, H	2-3~4-25	古沢嘉夫	4-1-20
永田 稔	4-3~4-67	ホートン, ベラ	4-2-39
中田 鈴	4-2-40	本誌記者	2-1~2-7, 2-3~4-31
那須耐成	2-3~4-25	本田親男	2-1~2-1・18
ニカンデル, グンナー	4-3~4-57	毎日新聞社	3-1~3-3
ノートスタイン, F. W(ノートスタイン, フ ランク・W)	1-1-2・14	水野 宏	4-1-20
		安井修平	4-1-20

●『研究ニュース』

石原 砒	3-3	安田徳太郎	3-1
太田典礼(太田)	3-1・3-4	吉田 貢	3-2
中島 精	3-4		

●『B. C. ニュース』

池田 賢	4	田中雄吉	4
石原 砒	4	中野 理	4
太田典礼(太田)	1・2・4	藤森速水	4
木村嘉一	4	安田徳太郎	1
近藤潘一	3・4	山崎〔山崎初三郎〕	4
佐伯	3		

●『避妊研究ニュース』

X、Y、Z	6-1	野村武夫	6-3
高田哲孝	6-4		

●『母性新聞』

江藤大嶺	3-2	近藤潘一	11-4
O 医師	4-2, 5-2	杉森 司	2-2, 3-2
O 生	6-2	高田久子	3-2
大川竜夫	4-1, 5-2	T O 生	3-2
太田典礼	11-3	永田義淵	4-1
柏原長弘	1-1	中山義雄	6-1
関西優生協会事業部	1-2	B・C生	7-1
K 生	3-2	平沢俊男	1-1, 2-1, 3-1, 4-1, 5-1,

6-1, 7-1		代々木新	11-3
淀川太朗	1-2		

●『避妊の研究』

石原 砧	1-2	太田典礼(太田)	1-1・3
逸見さかえ	1-2	奥田惣三郎	1-2
梅垣	1-4	近藤	1-4
大川竜夫	1-3	永田茂淵	1-2